



西南学院大学博物館年報 第11号

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.11

2018





西南学院大学博物館年報 第11号

ANNUAL REPORT OF SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM No.11

2018

巻 頭 言

西南学院大学博物館は、研究・教育の拠点として、さらには「社会に開かれた大学」を具現化するために、展示活動や本学学生の教育活動、さらには大学の枠を越えた連携活動など、精力的に取り組んでおります。

2018年度も例年と同様、特別展や企画展のほか、実習生企画展、常設展示室テーマ展示等を行っております。特別展では、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」世界文化遺産登録記念として、國學院大學博物館と共同でキリシタンに関する展覧会を開催いたしました。企画展では、東方正教会および宗教改革をテーマとして、エキュメニズムの時代に相応しい展覧会を開催いたしました。また、当年度より「研究室訪問シリーズ」という新たな企画展シリーズを開始し、第1回目となる2018年度研究室訪問シリーズⅠでは、本学国際文化学部の子田順准教授の協力のもと、「カタコンベの世界」を開催いたしました。

そのほか、過年度に引き続き、國學院大學博物館と南島原市との相互展示、おでかけワークショップなどの協定事業も活発に行っております。

2018年度の活動報告として、本書を刊行いたします。今後とも、引き続き大学博物館へのご指導、ご鞭撻賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2019年10月31日

西南学院大学博物館
館長 宮崎 克則

目 次

巻頭言	3	
2018年度事業報告		
1. 展示活動		
1.1 西南学院大学博物館主催の展示活動		
秋季特別展「キリシタン－日本とキリスト教の469年－」実施報告	5	
研究室訪問シリーズⅠ 山田順研究室「カタコンベの世界」実施報告	12	
企画展Ⅰ「東方キリスト教の出会い－祈りのかたちとその拡がり－」実施報告	14	
企画展「古写真でみる西南学院Ⅴ」実施報告	17	
企画展Ⅱ「宗教改革と印刷革命」実施報告	18	
常設展示室テーマ展示「日本人と紅毛文化」実施報告	21	
常設展示室博物館ニュース展示 2017～2018年度実施報告	22	
1.2 共同・連携事業による展示活動		
【南 島 原 市】 産官学連携サテライト展示・相互貸借特集展示 実施報告	24	
【國學院大學博物館】 相互貸借特集展示 実施報告	26	
2. 教育活動		
博物館実習	27	
2018年度博物館実習成果展	29	
せいなんワークショップ概要	33	
せいなんおでかけワークショップ概要	35	
博物館教職員活動記録	36	
博物館刊行物・成果物	40	
3. 来館者動向		
来館者統計	43	
特別展期間中来館者動向	44	
来館団体一覧	45	
博物館講堂使用状況	46	
4. 博物館規程		47
5. その他		
寄贈図書一覧	57	
西南学院大学博物館組織	61	

1. 展示活動

1.1 西南学院大学博物館主催の展示活動

秋季特別展

「キリシタン-日本とキリスト教の469年-」実施報告

会期：2018年9月15日(土)～2018年10月28日(日) 会場：國學院大學博物館
 2018年11月2日(金)～2018年12月13日(木) 会場：西南学院大学博物館
 共催：西南学院大学博物館・國學院大學博物館
 担当：野藤妙(学芸研究員)

ミュージアムセッション「島原・天草一揆と禁教」

日時：12月8日(土) 14:00～16:00
 会場：西南学院大学博物館2階講堂
 講師：木村直樹(長崎大学)「島原・天草一揆と牢人」
 安高啓明(熊本大学)「踏絵の実態と禁教認識の伝播」

事業内容

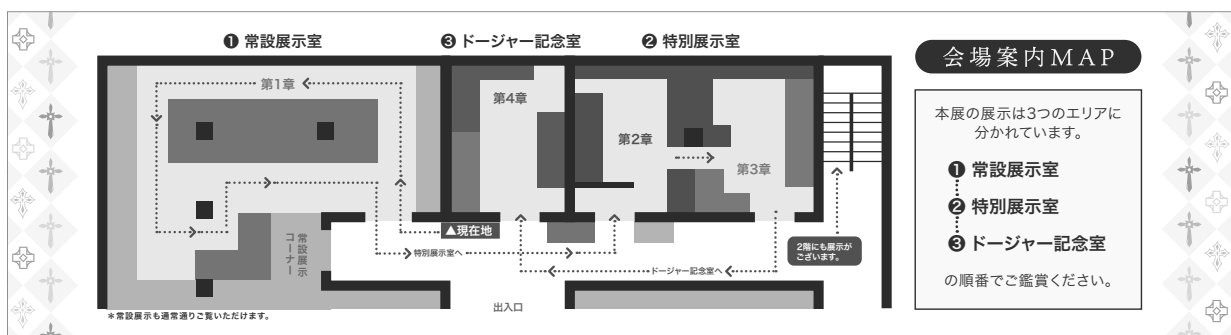
本展示会は、2014年度に「研究・教育に関する協定」を締結した國學院大學博物館との共催である。2018年7月の「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録にともない、日本におけるキリスト教の受容と禁教について関心の高まりをうけて、これを記念した展示会を実施した。



開催概要

日本列島においては、在来のアニミズム的「神道」と、仏教をはじめとする外来宗教が、時に相互の独自性を主張しつつも、緩やかに併存・融合してきた。かかる日本に、天地の創造主を崇めるキリスト教が伝来したのは、1549(天文18)年のことである。しかし、豊臣秀吉が伴天連追放令を發布した1587(天正15)年以降、徐々にキリスト教布教に制限が加えられていった。そして、キリシタンたちは、江戸幕府の禁教令や、島原・天草一揆などが進展するなかで、潜伏して信仰を守るか、棄教するかを選択せざるを得なくなっていく。その後、再び公の布教が可能となるまでには、明治維新を経ても暫くの時を要したのである。

この展覧会では、海外から流入する諸文化を換骨墮胎してきた日本に、いかにしてキリスト教が根を下ろそうとしてきたのか、その歩みを辿っていく。そこでは、受け入れる立場にあった日本側の試行錯誤を見出すことができるだろう。



序章 日本宗教の重層性

日本列島においては、3世紀から始まる国家形成の歩みと共に神道が定型化し、朝鮮半島を経て、6世紀に伝来した仏教や、中国由来の道教的風習などを取り入れつつ、今日に至る重層的宗教文化が育まれた。そこでは、アニミズム的世界観を背景として、諸宗教が緩やかに共存しており、「草木国土悉皆成仏」といった思想も広く受け入れられてきたのである。16世紀に伝来したキリスト教は、このような日本の風土と向き合うことになった。

第1章 キリスト教の伝来と普及

15世紀半ばからの大航海時代には、スペインやポルトガルを中心とする欧州諸国が、アメリカ・アジア・アメリカに勢力を伸ばした。また、16世紀前半に提起された宗教改革の影響を受けて、イエズス会を先駆けとする諸修道会は、非キリスト教圏への宣教を積極化する。日本においても、西国の諸大名のみならず、一般民衆にもキリスト教が浸透した。また、はじめて出会う西方の文化は、日本で作られた工芸品の意匠にも影響を与えた。

1節 フランシスコ・ザビエル来航 ―イエズス会の適応主義―

2節 キリスト教の定着 ―キリシタン版と聖品―

3節 海を渡った日本人キリシタン ―天正遣欧使節の足跡―

第2章 禁教政策の展開

順調に進んできたキリスト教の布教は、キリシタン大名による領民の改宗や、神社仏閣の破壊を見咎めた豊臣秀吉が、伴天連(宣教師)追放を發布した1587(天正15)年から、徐々に潮目が変わっていく。日本の文化に疎い後発の修道会の振る舞いも、布教活動の困難に拍車をかけた。続く徳川幕府は、暫くキリスト教を黙認していたが、キリシタン大名が関与した岡本大八事件や、島原・天草一揆を経て、禁教政策を本格化させていった。

1節 受難のはじまり —バテレン追放からキリシタン禁制へ—

2節 島原・天草一揆 —悪政に抗して—

3節 江戸幕府の禁教政策 —民衆統制と「崩れ」—

第3章 キリスト教解禁への道程 —開国と明治—

慶長の禁教令から約250年。19世紀後半になると、開国・開港が進む。長崎では、1865(元治2)年に信徒が「発見」されたが、ほどなく彼らの信仰が露見し、浦上四番崩れを引き起こす。幕府が倒れた後も、キリシタン厳禁の高札が撤去される1873(明治6)年まで公然たる禁教状態が続いた。また、外交・内政上の問題から、キリスト教をはじめとする信教の自由については議論が続く。明治憲法に明文化された信教の自由も、あくまで限定的なものであった。

1節 「信徒発見」と再布教

2節 浦上四番崩れ —キリシタン最後の「旅」—

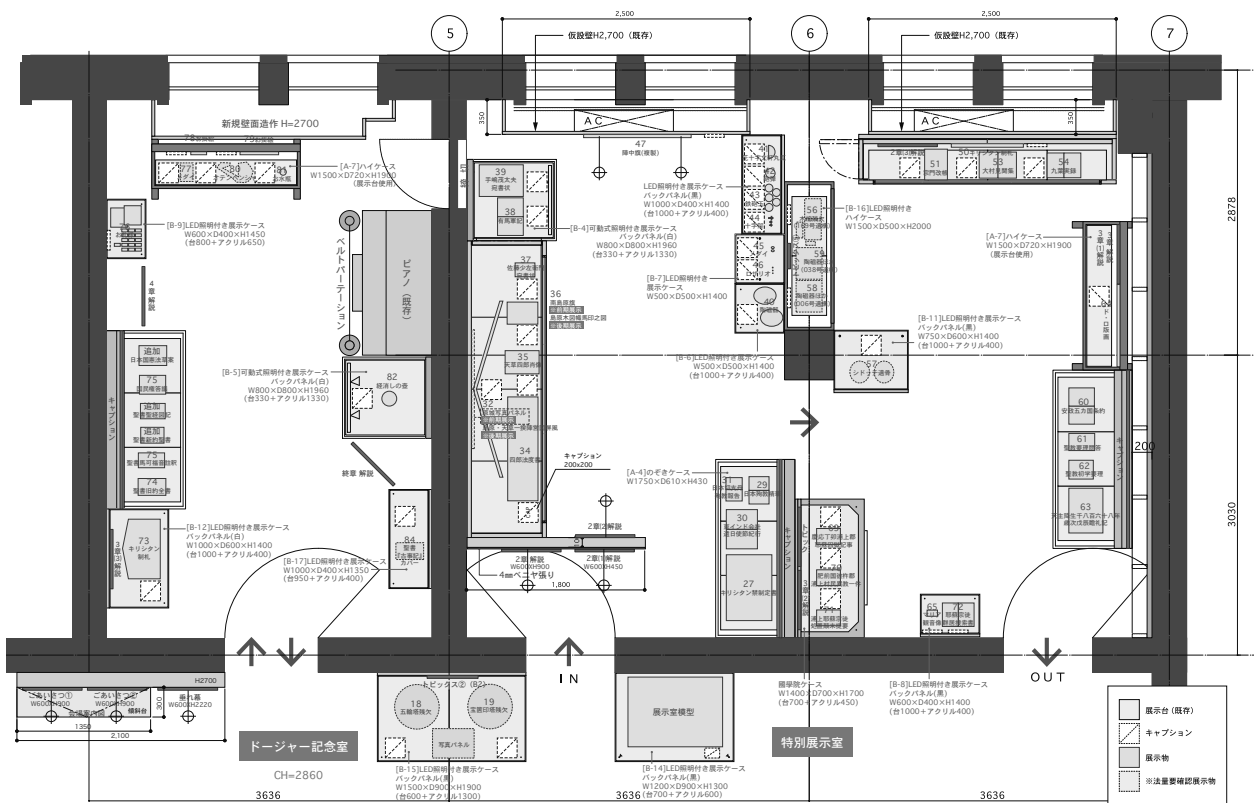
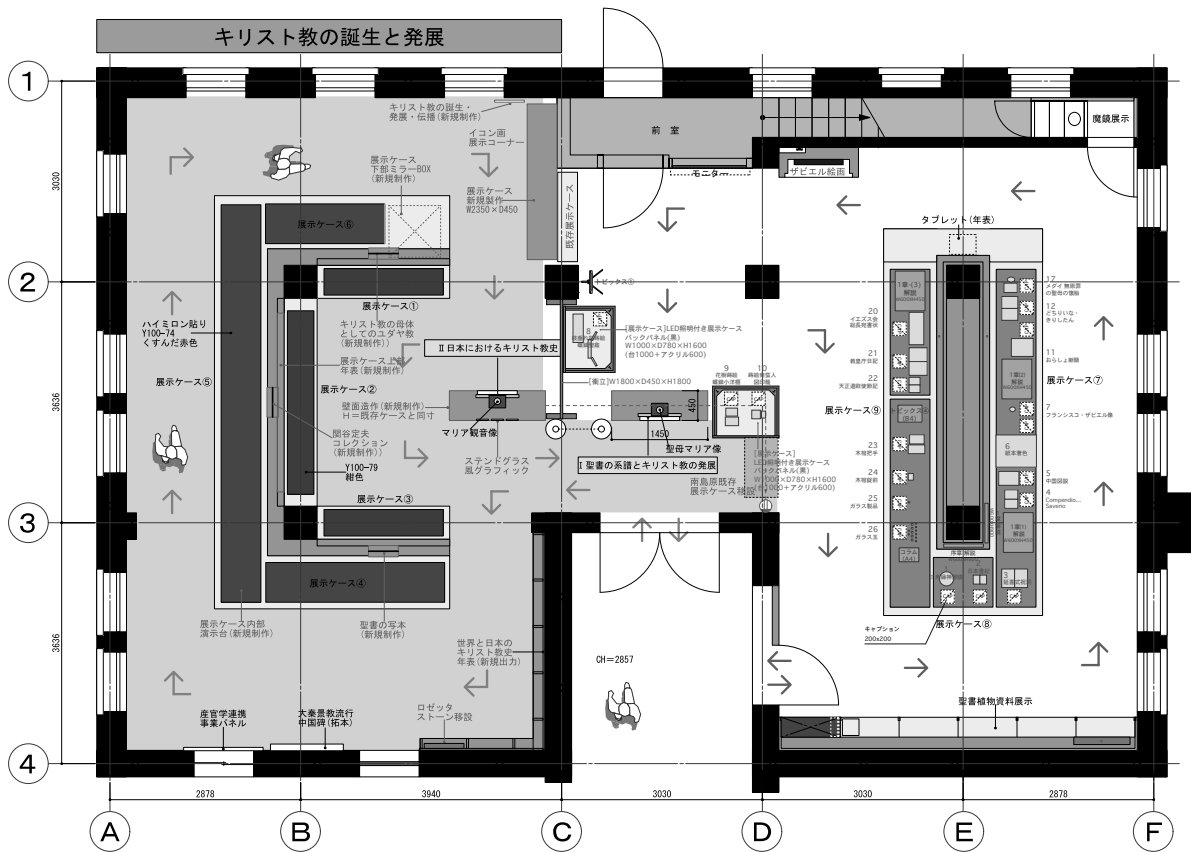
3節 明治の宗教政策とキリスト教解禁

第4章 「かくれキリシタン」の伝統

禁教によって指導者を失ったキリシタンは、棄教するか、潜伏しながら自らの信仰を守り続けるかの選択を迫られた。潜伏したキリシタンは、洗礼の秘跡や、典礼の形を維持しつつ、在来の神仏信仰と併存することで生き永らえていく。度重なる崩れを経験してきた人々の後裔には、解禁後にカトリック教会へ帰参した信者のほか、先祖代々の信仰を守り続けた「かくれキリシタン」があり、その伝統を今日に伝えている。



特別展示室平面レイアウト



■ 國學院大學博物館×西南学院大学博物館

秋季特別展「キリシタンー日本とキリスト教の469年ー」出品目録一覧

福岡会場：2018年11月2日(金)～2018年12月13日(木)

No	指定	作品名称	員数	作者・出土・伝来	時代・年代世紀	所蔵者・寄贈者
■序章 日本宗教の重層性						
1	—	三角縁神獸鏡	1	出土地不詳	古墳時代・4世紀	國學院大學博物館蔵
2	—	日本書紀(仮名日本紀)	1	舎人親王ほか撰 伝藤波種忠筆	原典：奈良時代・ 720(養老4)年 安土桃山時代・天正 -慶長年間写	國學院大學博物館蔵
3	—	延喜式祝詞	1	藤原時平・藤原忠平 ほか撰 卜部兼右筆	原典：平安時代： 927(延長5)年 室町時代・1542 (天文11)年写	國學院大學博物館蔵
■第1章 キリスト教の伝来と普及						
(1) フランシスコ・ザビエル来航ーイエズス会の適応主義ー						
4	—	Compendio della vita di S. Francesco Saverio (『聖フランシスコ・ザビエル伝』)	1	ジュゼッペ・マッセイ著	1681年初刊、 1793年刊	西南学院大学博物館蔵
5	—	China monumentis, qua sacris quã profanis, nec non variis naturae&artis spectaculis, aliarumque rerum memorabilium argumentis illustrata (『中国図説』)	1	アタナシウス・キルヒャー著	1667年	(公財)東洋文庫蔵
6	原品：国指定 重要文化財	紙本著色フランシスコ・ザビエル像 [複製]	1		原品：江戸時代・17世紀	西南学院大学博物館蔵 (原品：神戸市立博物館蔵)
7	—	聖フランシスコ・ザビエル像	1	ゴア(ポルトガル領インド)	18-19世紀	西南学院大学博物館蔵
(2) キリスト教の定着ーキリシタン版と聖品ー						
8	—	おらしょ断簡[複製]	1	キリシタン版(加津佐版)	安土桃山時代・ 16-17世紀	上智大学キリシタン文庫蔵
9	—	『どちりいな・きりしたん』[複製]	1	キリシタン版 1978年復刻版	安土桃山時代・ 1592(天正20)年	西南学院大学博物館蔵 (原品：パチカン図書館蔵)
10	長崎県指定 有形文化財	メダリオン無原罪の聖母	1	長崎県大村市出土	安土桃山時代・ 1590-1591(天正 18-20)年	大村市立史料館蔵
(3) 海を渡った日本人キリシタンー天正遣欧使節の足跡ー						
11	—	イエズス会総長宛書状[複製]	1	大村純忠	安土桃山時代・ 1582(天正10)年	大村市立史料館蔵
12	—	Relazioni della venuta degli ambasciatori giapponesi (『天正遣欧使節記』)	1	グイド・グアルティエーリ著	1586年	福岡市博物館蔵
13	—	Diariorum Pontificatus 1582-1638 (『教皇庁日記』)	1	パオロ・アラレオーネ著	18世紀	福岡市博物館蔵
TOPICS：千々石ミゲル夫妻墓が語るもの						
14	—	木棺残片(竿通し・錠前)	一括	長崎県諫早市 千々石ミゲル夫妻伊 木力墓出土	原品：江戸時代・ 1633(寛永9)年	個人蔵 諫早市美術・歴史館寄託
15	—	ガラス製品	1	長崎県諫早市 千々石ミゲル夫妻伊 木力墓出土	原品：江戸時代・ 1633(寛永9)年	個人蔵 諫早市美術・歴史館寄託
16	—	ガラス玉	13	長崎県諫早市 千々石ミゲル夫妻伊 木力墓出土	原品：江戸時代・ 1633(寛永9)年	個人蔵 諫早市美術・歴史館寄託
TOPICS：南蛮文化ー欧風文物の造形ー						
17	—	枝垂れ桜蒔絵蝶細聖龕	1		安土桃山-江戸時 代・16世紀末-17 世紀初頭	大村市立史料館蔵
18	—	花樹蒔絵螺鈿小洋櫃	1		安土桃山-江戸時 代・16世紀末-17 世紀初頭	大村市立史料館蔵

No	指定	作品名称	員数	作者・出土・伝来	時代・年代世紀	所蔵者・寄贈者
19	—	蒔絵南蛮人図印籠	1		江戸時代・17-19世紀	大村市立史料館蔵
TOPICS：キリシタンによる廃仏毀釈—禁教の一因—						
20	—	宝篋印塔残欠	4	長崎県南島原市有家温泉神社周辺出土	室町-安土桃山時代・15-16世紀	南島原市教育委員会蔵
21	—	五輪塔残欠	2	長崎県南島原市有家温泉神社周辺出土	室町-安土桃山時代・15-17世紀	南島原市教育委員会蔵
■第二章 禁教政策の展開						
(1) 受難のはじまり—バテレン追放からキリシタン禁制へ—						
22	原品：長崎県指定有形文化財	キリシタン禁制定書(伴天連追放令)[複製]	1	豊臣秀吉	原品：安土桃山時代・1587(天正15)年	西南学院大学博物館蔵(原品：(公財)松浦史料博物館蔵)
23	—	Fasciculus e lapponicis floribus, suo adhuc madentibus sanguine (『日本殉教精華』)	1	アントニオ・カルディン著	1646年	(公財)東洋文庫蔵
24	—	Denckwürdige Gesandtschafften del Ost Indischen Gesellschaft in den Vereinigten Niederländern an unterschiedliche Keyser von Japan (『東インド会社遣日使節紀行(日本誌)』)	1	アルノルドゥス・モンタヌス著	1669年	西南学院大学博物館蔵
25	—	Relazione delle persecuzioni mosse contro la Fede di Christo in varii regni del Giappone (『日本切支丹殉教報告』)	1	クリストヴァン・フェレイラほか	1635年	西南学院大学博物館蔵
(2) 島原・天草一揆—悪政に抗して—						
26	—	陶磁器	3	長崎県南島原市原城出土	14-17世紀	南島原市蔵
27	—	メダイ	2	長崎県南島原市原城出土	安土桃山-江戸時代・16-17世紀	南島原市蔵
28	—	口ザリオ	3	長崎県南島原市原城出土	安土桃山-江戸時代・16-17世紀	南島原市蔵
29	—	十字架	3	長崎県南島原市原城出土	安土桃山-江戸時代・16-17世紀	南島原市蔵
30	—	鉄砲玉	10	長崎県南島原市原城出土	江戸時代・17世紀	南島原市蔵
31	—	砲弾	1	長崎県南島原市原城出土	江戸時代・17世紀	南島原市蔵
32	—	花十字紋瓦	2	長崎県南島原市原城出土	安土桃山-江戸時代・16-17世紀	南島原市蔵
33	—	原城攻城図屏風	1		江戸時代・17世紀	福岡市博物館蔵
34	—	四郎法度書	2	益田四郎ふらんしすこ(天草四郎)	江戸時代・1638(寛永15)年	(公財)永青文庫蔵熊本大学附属図書館寄託
35	—	天草四郎肖像	1	月岡芳年画	明治時代・1874(明治7)年	西南学院大学博物館蔵
36	—	島原木図幟馬印之図	1		江戸時代・1840(天保11)年	(公財)永青文庫蔵熊本大学附属図書館寄託
37	—	佐藤少左衛門宛書状	1	板倉意竿	江戸時代・1638(寛永15)年	個人蔵
38	—	有馬軍記	1		江戸時代・18世紀	個人蔵
39	—	手嶋茂太夫宛書状	1	藤原七郎兵衛	江戸時代・1638(寛永15)年	個人蔵
40	原品：国指定重要文化財	綸子地著色聖体秘蹟図指物(天草四郎陣中旗)[複製]	1		江戸時代・17世紀	天草市立天草キリシタン館蔵
(3) 江戸幕府の禁教政策—民衆統制と「崩れ」—						
41	—	キリシタン制札	1		江戸時代・1682(天和2)年	西南学院大学博物館蔵
42	—	大村見聞集	1	大村藩	江戸時代・19世紀	大村市立史料館蔵
43	—	九葉実録	1	大村藩	江戸時代・20世紀	大村市立史料館蔵
TOPICS：切支丹屋敷とシドツチ						
44	—	木棺残欠(169号遺構出土)	一括	東京都文京区切支丹屋敷跡出土	江戸時代・1714(正徳4)年	文京区教育委員会蔵

No	指定	作品名称	員数	作者・出土・伝来	時代・年代世紀	所蔵者・寄贈者
45	—	陶磁器ほか(006号遺構出土)	一括	東京都文京区切支丹屋敷跡出土	江戸時代・17-18世紀	文京区教育委員会蔵
46	—	陶磁器ほか(038号遺構出土)	一括	東京都文京区切支丹屋敷跡出土	江戸時代・17-18世紀	文京区教育委員会蔵
47	—	シドッチ遺骨(169号遺構出土) [複製]	一括	東京都文京区切支丹屋敷跡出土	江戸時代・18世紀	文京区教育委員会蔵
■第三章 キリスト教解禁への道程—開国と明治—						
(1)「信徒発見」と再布教						
48	—	ド・口版画 地獄	1	マルク・マリー・ド・口制作	明治時代・19世紀	大浦天主堂キリシタン博物館
49	—	安政五カ国条約	5		江戸時代・1859(安政6)年	西南学院大学博物館蔵
50	—	聖教要理問答	1	ピエール・ムニコウ編	江戸時代・1865(慶応元)年	上智大学キリシタン文庫蔵
51	—	聖教初学要理	1	ベルナル・プティジャン編(プティジャン版)	江戸時代・1868(慶応4)年	上智大学キリシタン文庫蔵
52	—	天主降生千八百六十八年歳次戊辰 瞻礼記	1	ベルナル・プティジャン編(プティジャン版)	江戸・明治時代・1868(慶応4・明治元)年	上智大学キリシタン文庫蔵
(2)浦上四番崩れ—キリシタン最後の「旅」—						
53	—	マリア観音像	1	徳化窯産 浦上伝来	明・清・17世紀	西南学院大学博物館蔵
54	—	慶応丁卯浦上郡耶蘇囚獄記事	1	佐佐木高行旧蔵	明治時代・19世紀	國學院大學図書館蔵
55	—	肥前国彼杵郡 浦上村民異教一件	1	佐佐木高行旧蔵	明治時代・19世紀	國學院大學図書館蔵
56	—	浦上耶蘇宗徒処置顛末提要	1	佐佐木高行旧蔵	明治時代・19世紀	國學院大學図書館蔵
57	—	耶蘇宗徒群居搜索書	1	櫻井虎太郎	明治時代・1875(明治8)年	西南学院大学博物館蔵
(3)明治の宗教政策とキリスト教解禁						
58	—	キリシタン制札	1		江戸時代・1868(慶応4)年	西南学院大学博物館蔵
59	—	『新約聖書馬太傳』	1	ジェームズ・ヘボン訳 米国聖書会社(横浜)刊、神道事務局旧蔵	清・1855(咸豊5)年	國學院大學図書館蔵
60	—	Entwurf einer Verfassung Für das Kaisertum Japan (日本 帝国憲法草案) [複製]	1	ヘルマン・ロエスレル筆 井上毅旧蔵	明治時代・1887(明治20)年4月30日	國學院大學図書館蔵(梧陰文庫)
61	—	日本帝国憲法草案	1	井上毅旧蔵	明治時代・1887(明治20)年	國學院大學図書館蔵(梧陰文庫)
■第四章 「かくれキリシタン」の伝統						
62	—	お掛け絵	1	生月島伝来	昭和時代	平戸市生月町博物館・島の館蔵
63	—	お掛け絵	1	生月島伝来	昭和時代・20世紀	西南学院大学博物館蔵
64	—	メダイ	2	生月島伝来	安土桃山・江戸時代・16-17世紀	平戸市生月町博物館・島の館蔵
65	—	お水瓶	1	古伊万里、生月島伝来	江戸時代・18-19世紀	西南学院大学博物館蔵
66	—	オテンペンシャ	1	生月島伝来	江戸・明治時代・18-19世紀	西南学院大学博物館蔵
67	—	お札様	一括	生月島伝来	江戸-明治時代・19世紀	平戸市生月町博物館・島の館蔵
68	熊本県指定 重要有形民俗文化財	経消しの壺	1	南蛮焼、天草大江伝来	16-17世紀	個人蔵 天草市立天草ロザリオ館寄託
■終章						
69	—	Chosen Essays for Student Culture(『古事記』カバー)	1	吉武好孝編・三省堂刊	昭和時代・1941(昭和16)年	西南学院史資料センター蔵
TOPICS：地下に眠るキリシタン						
70	—	須崎墓碑群第6号墓碑	1	—	17世紀前期	南島原市教育委員会蔵
71	—	陣之内墓碑群第1号墓碑	1	—	17世紀前期	南島原市教育委員会蔵
72	—	中須川墓碑群第3号墓碑	1	—	17世紀前期	南島原市教育委員会蔵

※國學院大學博物館会場とは、展示内容が一部異なります。

研究室訪問シリーズⅠ 山田順研究室 「カタコンベの世界」実施報告

会期：2018年4月2日(月)～6月30日(土)

主催：西南学院大学博物館

協力：山田順研究室(西南学院大学国際文化学部国際文化学科)、南山大学教皇庁認可神学部図書館

会場：西南学院大学博物館

担当：内島美奈子(学芸員)

事業内容

研究室訪問シリーズとは、西南学院大学の先生方が研究の合間にコツコツと集めてこられた貴重な個人コレクションを、博物館スタッフと協力して一挙公開するものである。普段は大学の教室や研究論文でしか知ることができない先生方の研究をわかりやすく紹介する。大学における社会の窓口として、大学と地域社会とをつなぐ場となる大学博物館の使命を果たす企画である。

なお、本展覧会は2017年度予算で企画され、2018年度に開催された。



開催概要

イタリア半島を中心に分布するカタコンベ(地下共同墓地)は、ローマ帝国領内の葬制(埋葬方法)が火葬から土葬へと転換した2世紀後半に発生し、その後5世紀ごろまでのキリスト教共同体やユダヤ教共同体の地下の埋葬施設として機能していた。今日、ローマ市郊外からは、大小様々なカタコンベが数多く発見されている。それらは、古代末期の多神教社会のなかでキリスト教が拡大普及していく変化のプロセスを、一般信徒層の生活レベルから解明するための貴重な考古学資料として、近年、大いに注目されている。今ではローマの観光名所のひとつとして賑わうカタコンベは、ゲルマン人の侵入・略奪が原因で放棄された7～8世紀から千年以上の長い間、人々の記録から完全に失われ、漆黒の闇のなかで静かに眠り続けていた。この死者に捧げられた「地下都市」に再び光が当てられるまでには、カタコンベの世界に魅せられ憑りつかれた者たちの命を懸けた探求の歴史があった。本展覧会では、カタコンベの再発見に貢献した考古学者たちの挑戦とその成果に注目しながら、初期キリスト教考古学の成立と発展、そして最新の研究成果を紹介する。

第1部：地下世界の探検者たち—冒険から研究へ—

16世紀、ボージオの地下世界の冒険からカタコンベ研究は始まる。数世紀の沈黙の時代を経た19

世紀、ボージオが残した先駆的著作が大きな導きの灯火となり、カタコンベの学術的調査研究が開花する。その代表者デ・ロッシは、今日につながるカタコンベを長い沈黙の眠りから目覚めさせた彼らの研究は、大きな驚きをもって迎えられ、19世紀末には一般向け入門書も刊行された。現在の最先端の研究では、レーザー機器による新たなデータ収集も試みられ、図像学や碑銘学など様々な分野の研究者が共に研究を進める複合的研究アプローチがキリスト教考古学に新たな可能性を開いている。

本章では、カタコンベ研究を通してキリスト教考古学の基礎を築いた3人の立役者に注目し、彼らが遺した古典的研究を紹介しながら、カタコンベ研究の萌芽と発展の軌跡をたどる。

第2部：ローマの地下世界—カタコンベの発見と研究—

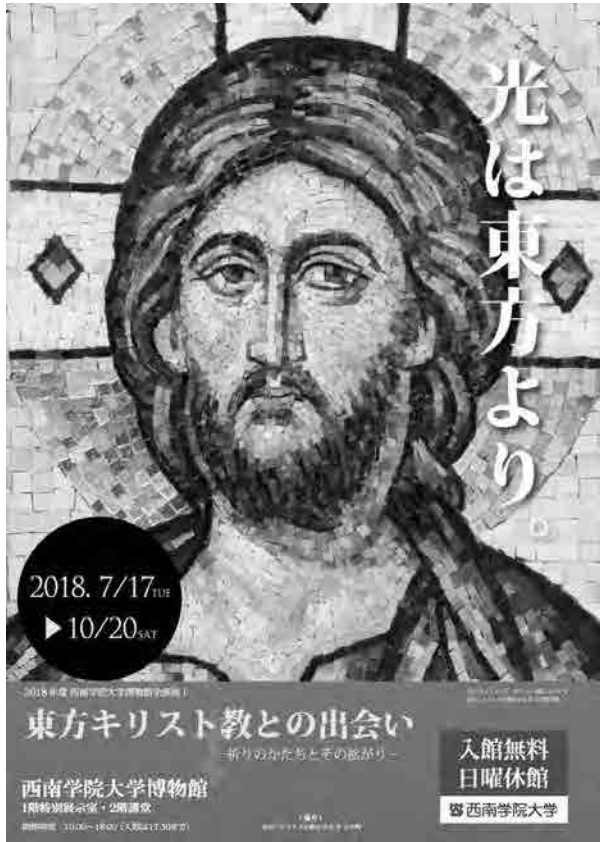
古代ローマの遺跡が数多く眠る歴史都市ローマでは、地下世界の探究の歴史が今なお続けられている。現在、ローマ近郊では、50余りのカタコンベが発見され、なかには地下通路の総延長が20kmを超える大規模なものもある。発見されたカタコンベは、教皇庁考古学監督局の許可を得た研究者たちによって様々な分野の調査研究が行われ、その発生から拡大発展のプロセス、内部構造や装飾図像、被埋葬者の人物像などの解明が日々続けられている。これらのカタコンベ研究の成果は、キリスト教が今日のような世界宗教のひとつになるずっと以前、迫害の嵐に翻弄されていた時代の共同体の状況や信仰について、また、古代末期の多神教社会のなかでキリスト教が拡大普及していく変化の過程を私たちに教えてくれる。

本章では、研究成果をもとに、ローマのカタコンベの構造的特徴や内部装飾の具体例をパネルで紹介しながら、カタコンベの時代を生きた初期キリスト教徒の姿に迫る。



企画展 I

「東方キリスト教との出会い－祈りのかたちとその拡がり－」実施報告



主催：西南学院大学博物館

協力：仙台ハリストス正教会 辻永 昇 大主教

会場：西南学院大学博物館

1階特別展示室・2階講堂

会期：2018年7月17日(火)～10月20日(土)

担当：宮川由衣(学芸調査員)

中禮尚史(学芸調査員)

事業内容

日本にキリスト教が伝来して以来、その出会いの場である九州は、キリシタン大名のもと、キリスト教信仰が地域に根付いた。豊臣秀吉が最初の伴天連追放令を布いた1587(天正15)年以降、徐々にキリスト教の布教が制限されていった。こうした状況において、信仰を守ってきた潜伏キリシタンの伝統に関する「長崎と天草地方

の潜伏キリシタン関連遺産」が世界文化遺産に登録されるなど、九州におけるキリスト教の伝統に対する関心は今日ますます高まっていると言ってよい。イエズス会の宣教師によって日本にもたらされたのは、西方キリスト教の伝統にあるカトリックであった。一方、キリスト教には現代のギリシア正教やロシア正教に代表される東方キリスト教の伝統がある。日本においては、幕末から明治期にかけて、亜使徒聖ニコライの働きにより、日本正教会の礎が築かれた。東方キリスト教の伝統においては、イエス・キリストやマリアを描いたイコン(聖像画)が深く崇敬されている。日本においても、東北地方を中心に正教会が地域に根付いているが、九州においては、カトリックやプロテスタントの西方キリスト教の伝統に比べ、東方キリスト教の伝統に触れる機会が限られている。こうした中、本展覧会においては、ビザンティン以来の東方キリスト教の伝統に光を当てることで、東西両方の伝統からキリスト教とその文化について理解することを目的とした。展覧会では、ビザンティンの聖堂装飾を代表するモザイクやフレスコによるイコンを展示し、イコンを特徴づける「模写」に注目することで、東方キリスト教独自の伝統を紹介した。また、日本正教会の歴史について、明治期の資料とともに紹介した。本展覧会の開催に際して、日本正教会の教会関係者の協力を賜った。また、展覧会を通じてベラルーシ共和国正教会公式サイトにおいて紹介していただいた。

開催概要

キリスト教には、東方キリスト教(東方正教会、東方諸教会)と西方キリスト教(カトリック、プロテスタント)の2つの伝統がある。このうち、ビザンティンの伝統を担うのが東方キリスト教で

ある。その起源はイエス・キリストと出会った使徒たちに遡り、教父たちの時代を経て、ギリシアやロシアを中心に息づいている。東方キリスト教の聖堂には、イエス・キリストやマリアを描いたイコンが置かれている。聖なる写しとも言うべきイコンの美は、東方キリスト教の祈りのかたちを示している。日本においては幕末から明治期にかけて、使徒聖ニコライの働きにより、日本正教会の礎が築かれた。その後、ロシア革命や二度にわたる世界大戦により日本正教会は苦難の道を歩むが、聖ニコライが伝えた正教の教えは現代においても、日本全国で守り続けられている。本展覧会では、東方キリスト教の祈りのかたちを紹介し、その歴史的広がりを辿る。



関連事業

公開シンポジウム「東方キリスト教との出会い」

日時：2019年2月2日(土) 13:00~16:10

会場：西南学院大学博物館2階講堂

第Ⅰ部 基調講演

「模写と無名性——天と地をつなぐ」

講師：鐸木道剛氏

(東北学院大学文学部総合人文学科教授)



第Ⅱ部 パネリスト講演

「東方教会が西方に与えたもの——ダマスケヌスとトマス・アクィナス」

片山寛(西南学院大学神学部神学科教授)

「ビサンティン絵画の(不)透明性——イタリアの宗教文化におけるその機能をめぐって」

松原知生(西南学院大学国際文化学部国際文化学科教授)

「触覚の概念をめぐって——ベンヤミンとリーグル」

森田團(西南学院大学国際文化学部国際文化学科教授)

ディスカッション・質疑応答

司会：後藤新治

(西南学院大学国際文化学部国際文化学科教授
・大学博物館館長)



■西南学院大学博物館2018年度企画展 I

「東方キリスト教との出会いー祈りのかたちとその拡がりー」出品目録一覧

資料名	英訳	製作地／年代／材質	法量 (cm)	原資料所蔵先	所蔵先	数量	
第1章 東方キリスト教の世界ー光は東方よりー							
1	シナイ写本	Sinai Codex	4世紀／紙製／冊子本	縦45.0× 横40.5	大英図書館蔵 (イギリス)	西南学院大学 博物館	1
2	聖ペテロと聖パウロ	St. Peter and St. Paul	エチオピア／19世紀 ／羊皮紙	縦17.0× 横10.0		西南学院大学 博物館	1
3	スラヴ語聖書	Slavic Bible	1998年／書冊	縦15.0× 横11.0		西南学院大学 博物館	1
4	キリスト	Christ	ロシア／20～21世紀 ／モザイク	縦50.0× 横42.0		仙台ハリスト ス正教会 辻 永昇大教主	1
5	聖ニコラ	St. Nicholas	セルビア／20～21世 紀／フレスコ	縦34.0× 横30.3		仙台ハリスト ス正教会 辻 永昇大教主	1
6	聖三位一体 (複製)	The Holy Trinity	ロシア／20～21世紀	縦17.3× 横13.8	トレチャコフ美 術館 (ロシア)	西南学院大学 博物館	1
7	キリスト (複製)	Christ	ロシア／20～21世紀	縦18.7× 横13.6	トレチャコフ美 術館 (ロシア)	西南学院大学 博物館	1
第2章 イコンー祈りのかたち							
第1節 ウラジーミルの聖母ー聖なる写し							
8	ウラジーミルの聖母 (複製)	Theotokos of Vladimir	ロシア／20～21世紀	縦19.0× 横13.7	トレチャコフ美 術館 (ロシア)	西南学院大学 博物館	1
9	ウラジーミルの聖母	Theotokos of Vladimir	ギリシア／20～21世 紀／板、テンペラ、ガ ラス、打ち出し	縦26.0× 横19.5	トレチャコフ美 術館 (ロシア)	個人蔵	1
10	ウラジーミルの聖母	Theotokos of Vladimir	ギリシア／20～21世 紀／板、テンペラ、ガ ラス、打ち出し	縦25.5× 横18.0	トレチャコフ美 術館 (ロシア)	個人蔵	1
11	ウラジーミルの聖母	Theotokos of Vladimir	ギリシア／20～21世 紀／板、テンペラ、打 ち出し	縦19.0× 横5.0	トレチャコフ美 術館 (ロシア)	個人蔵	1
12	ウラジーミルの聖母	Theotokos of Vladimir	ギリシア／20～21世 紀／板、テンペラ	縦6.0× 横5.0	トレチャコフ美 術館 (ロシア)	個人蔵	1
13	ウラジーミルの聖母	Theotokos of Vladimir	現代／陶板	縦7.3× 横5.3	トレチャコフ美 術館 (ロシア)	個人蔵	1
14	ウラジーミルの聖母	Theotokos of Vladimir	20～21世紀／陶板、 打ち出し	縦5.8× 横4.7	トレチャコフ美 術館 (ロシア)	個人蔵	1
15	ウラジーミルの聖母	Theotokos of Vladimir	20～21世紀／陶板、 打ち出し	縦6.0× 横5.0	トレチャコフ美 術館 (ロシア)	個人蔵	1
16	ウラジーミルの聖母	Theotokos of Vladimir	パレフ (ロシア) / 2000年／板、テンペ ラ	縦30.0× 横24.0	トレチャコフ美 術館 (ロシア)	個人蔵	1
17	ウラジーミルの聖母	Theotokos of Vladimir	日本／20～21世紀/ 陶板、アクリル	縦23.5× 横19.5	トレチャコフ美 術館 (ロシア)	個人蔵	1
第2節 イコンと素材ー物質の聖化							
18	聖母の庇護	Intercession of the Virgin Mary	ロシア／18世紀／板、 着色	縦44.2× 横39.4		西南学院大学 博物館	1
19	聖ボンファティオスと 聖アナスタシア	St. Bonifatius of Tarsus and St Anastasia	ロシア／19世紀／板、 着色	縦8.8× 横6.8		西南学院大学 博物館	1
20	聖ワシーリーと聖ヨハ ネス・クリュソストモス	St. Basil the Hermit and St Joannes Chrysostomos	ロシア／19世紀／板、 着色	縦8.8× 横6.8		西南学院大学 博物館	1
21	キリストの鞭打ち	Flagellation of Christ	ロシア／板、着色	縦5.5× 横4.5		西南学院大学 博物館	1
22	東方三博士の礼拝	Adoration of the Magi	ロシア／19世紀／真 鍮	縦7.3× 横5.0		西南学院大学 博物館	1
23	全能者キリスト	Christ Pantocrator	ギリシア／20～21世 紀／板、着色	縦19.0× 横15.0		西南学院大学 博物館	1
24	全能者キリスト	Christ Pantocrator	ロシア／20～21世紀 ／打ち出し	縦32.0× 横17.0		西南学院大学 博物館	1

資料名	英訳	製作地／年代／材質	法量 (cm)	原資料所蔵先	所蔵先	数量
25 カザンの聖母	Our Lady of Kazan	20~21世紀／額装	縦26.3× 横22.5		西南学院大学 博物館	1
26 ズナメニエの聖母	Our Lady of the Sign (Znamenie)	ロシア／現代／額装	縦16.5× 横14.5		西南学院大学 博物館	1
第3節 19世紀ロシア・イコンと山下りんのイコン						
27 正教小画帖	Small Pictorial Orthodox Christianity Handbook	日本／1902 (明治 35) 年／書冊	縦19.5× 横15		西南学院大学 博物館	1
第3章 祈りの拡がりー日本と正教会						
第1節 聖ニコライによる布教活動						
28 魯西亜国条約並税則	Treaty of Amity and Commerce between Japan and Russia	日本／江戸時代後期 ／書冊	縦25.8× 横18.3		西南学院大学 博物館	1
29 我主イイススハリスト スノ新約	New Testament	日本／1901 (明治 34) 年／書冊	縦23.0× 横15.5		西南学院大学 図書館	1
30 絵入通俗正教自修書	Pictorial Orthodox Christianity Handbook	日本／1904 (明治 37) 年／書冊	縦18.0× 横12.0		西南学院大学 博物館	1
第2節 日本ハリストス正教会の祈り						
31 聖詠経	Hymn's prayer book	日本／1885 (明治 18) 年／書冊	縦22.5× 横15.5		西南学院大学 図書館	1
32 小祈祷書	Small prayer book	日本／1884 (明治 17) 年／書冊	縦18.0× 横12.5		西南学院大学 博物館	1
33 時課経	Book of hours	日本／1884 (明治 17) 年／書冊	縦22.0× 横16.0		西南学院大学 博物館	1

企画展

「古写真でみる西南学院V」実施報告

西南学院大学博物館 2018 年度企画展

古写真でみる
西南学院V

西南学院大学博物館
2階講堂
2018.12.15(土)～2019.1.12(土)
入場無料

開館時間：10時から18時（入場は17時半まで）
休館日：毎週日曜日、キリスト降誕祭（12.25）、年末年始休館（12.28～1.6）

西南学院大学博物館
〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号
TEL 092-823-4785 FAX 092-823-4786
HP <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

会期：2018年12月15日（土）～

2019年1月12日（土）

会場：西南学院大学博物館2階講堂

1916年、創立者C. K. ドージャーにより、福岡市大名町（現・中央区赤坂）に旧制男子中学校の「私立西南学院」が開設される。1918年、「中学西南学院」と改称して早良郡（現・福岡市）西新町に校地を取得し移転、1921年には西南学院本館が竣工する。こうして、西南学院は今日まで脈々と西新地区に息づいている。本企画展は、過去の記録写真を紐解くことで、西南学院が歩んできた事績を紹介した。

企画展Ⅱ 「宗教改革と印刷革命」実施報告



会期：2019年1月15日(火)～3月23日(土)

会場：西南学院大学博物館1階
特別展示室・2階講堂

担当：下園知弥(博物館教員)
宮川由衣(学芸研究員)
山尾彩香(学芸研究員)

事業内容

2017年、宗教改革500周年を記念する年として、世界各国で宗教改革500周年記念行事が開催された。本展覧会もまた、宗教改革500周年をきっかけとして企画されたものである。展覧会のコンセプトは、実物資料と共に宗教改革および印刷文化を歴史的に学ぶことであり、中世から近代初頭にかけての資料が19点展示された(資料の総数は20点)。また、西南学院中学・高校の協力のもと、大学博物館2階講堂で宗教改革500周年記念ポスターを展示した。本展覧会は、西南学院大学博物館の歴史上はじめて「宗教改革」に焦点をあてた展覧会であり、プロテスタントにルーツをもつ西南学院の歴史と教育を見つめなおす機会になることも目指した。

開催概要

宗教改革は、1517年にマルティン・ルターが著した『九十五カ条の論題』に端を発する西欧キリスト教の改革運動である。印刷革命は、15世紀半ばにヨハネス・グーテンベルクが活版印刷術を発明・実用化したことに始まる書物文化の革命である。これら二つの革新は、ヨーロッパにおける中世から近代への移行を担った重要な転換点であるのと同様、キリスト教の聖典である「聖書」のすがたを変えた革新でもあった。本展覧会では、これら二つの革新によって聖書がどのようにすがたを変えていったのかを、古代・中世の聖書写本から宗教改革期の活版印刷聖書に至るまで、「聖書の歴史」を辿っていくことによって紹介する。



関連事業

オルガン・レクチャー・コンサート&ナイトミュージアム

西南学院大学博物館企画展Ⅱ「宗教改革と印刷革命」関連イベント

ORGAN LECTURE CONCERT & NIGHT MUSEUM

オルガン・レクチャー・コンサート

ルターのコラール&バッハのコラール前奏曲



2019 **3.13** [水] 17:00~18:00

【中絶イベント】 第2118号の印刷回を3月13日の21時（入館者のみ）まで延長開館します。

西南学院大学博物館 2階講堂 **無料**

バッハに代表されるルター派教会音楽は、その根幹をコラール（独奏歌）に持っています。コラールは、宗教改革者 M. ルターが唱へた聖歌のスタイルでもあり、ルター派のセンスが詰まっているものでもあります。今回のレクチャーコンサートでは、ルター作曲のコーラルと、ルター派の代表的なコラールをいくつか取り上げます。各コラールの背景と内容について簡単に学んだ後、パイプ・オルガンの伴奏で、一緒に日本語で歌ってみましょう。それから、そのコラールを基に作曲された J.S. バッハのオルガン作品（コラール前奏曲）の演奏をお聴きいただきます。

PROGRAM

「喜びの平安を私に与えます」 *Mit Freuden freud ich dir das Evangelium BWV 610*

「いざ来たります、異邦人の救い主よ」 *Ich komm ich löstet die Heiden, BWV 659*

「天にましますわれらの父よ」 *Mein Gott im Himmelreich, BWV 683* 他

【オルガニスト】 **安積道也** Michiya Azumi

PROFESSOR フライブルグ国立音楽大学にて教会音楽 A 課程と指揮科を専攻後、ドイツ国家独逸教会音楽家協会（カソック）に入会。在独中、ヨーロッパ・アメリカ・アジアの教会音楽家として、その才能を多くの教会で発揮。2008年に同国西南学院大学にて、オルガニスト、教会音楽を専攻し、同大学に特化した同国初の演奏家、音楽学者の専任教授に就任。音楽家としての活動に加え、教会音楽を広く一般に伝えるため、西南学院大学にて「オルガニスト・コンサート」を主催。また、同国西南学院大学にて「オルガニスト・コンサート」を主催。また、同国西南学院大学にて「オルガニスト・コンサート」を主催。

西南学院大学 主幹 西南学院大学博物館 福岡市東区西新井1113番1号 TEL:092-823-1785 印刷1000~1800(入館417302人印刷)

オルガン・レクチャー・コンサート

「ルターのコラール&バッハのコラール前奏曲」

日程：2019年3月13日（水） 17：00～18：00

会場：西南学院大学博物館2階講堂

料金：無料（申込不要）

演奏：安積道也

（西南学院音楽主事／オルガニスト）



■西南学院大学博物館2018年度企画展Ⅱ

「宗教改革と印刷革命」出品目録一覧

資料名	英訳	製作地／年代／材質	法量 (cm)	原資料所蔵先	所蔵先	数量	
第1章 「古代・中世の聖書写本」							
1	リンディスファーン福音書(複製)	Lindisfarne Gospels (Facsimile)	2002年／Facsimile Verlag／紙、宝石・貴金属(レプリカ)	縦36.5×横30.5	大英図書館蔵(イギリス)	西南学院大学博物館	1
2	ヴァチカン写本(複製)	Codex Vaticanus (Facsimile)	1999年／Istituto Poligrafico e Zecca dello Stato／紙	縦29.5×横36.0	ヴァチカン教皇庁図書館	西南学院大学博物館	1
3	アレppo写本(複製)	Aleppo Codex (Facsimile)	1975年／Eisenbrauns／紙	縦44.0×横35.0	イスラエル博物館	西南学院大学図書館	1
4	レニングラード写本(複製)	Codex Leningradus (Facsimile)	1998年／Brill Academic Publishing／紙	縦35.0×横30.0	ロシア国立図書館	西南学院大学図書館	1
5	貧者の聖書(複製)	Paupers' Bible (Facsimile)	1982年／Belser Verlag／紙	縦37.0×横28.0	ヴァチカン教皇庁図書館	西南学院大学図書館	1
第2章 「印刷革命」							
6	42行聖書(複製)	42-line Bible (Facsimile)	1978年／Idion Verlag／紙	縦47.0×横37.5	国立プロイセン財団図書館およびフルダ州立図書館	西南学院大学博物館	1
7	ダンテ『神曲 煉獄編』	Dante's Divine Comedy (Facsimile)	1491年／ヴェネツィア／紙、活版・木版	縦31.2×横20.6		西南学院大学博物館	1
8	聖ヒエロニムス『マタイ福音書註解』	St. Jerome's Commentary on Matthew	1498年／ヴェネツィア／紙、活版・木版	縦34.0×横22.5		西南学院大学博物館	1
9	聖句註解付きラテン語聖書	Latim Bible with Postil	1481年／ヴェネツィア／紙、活版、手彩色	縦31.0×横21.0		西南学院大学博物館	1
第3章 「宗教改革と活版印刷聖書」							
10	ルター訳聖書(1534年版・複製)	Luther Bible (Facsimile of 1534)	2003年／Taschen／紙	縦30.8×横19.7		個人蔵	1
11	ルター訳聖書(1763年版)	Luther Bible	1763年／ヴォルムス／紙、活版・銅版	縦17.0×横11.2		西南学院大学博物館	1
12	ルター訳聖書(1545年版・複製)	Luther Bible (Facsimile of 1545)	1967年／Württembergische Bibelanstalt／紙	縦26.0×横18.5		西南学院大学図書館	1
13	ルターによる書簡とイソップ寓話	Martin Luther: Letters and Aesop-Fable (Facsimile)	1983年／Belser Verlag／紙	縦33.5×横24.3	ヴァチカン教皇庁図書館	個人蔵	1
14	チューリッヒ聖書	Zurich Bible	1531年／チューリッヒ／紙、活版	縦34.0×横17.0		西南学院大学博物館	
15	ティンダル訳聖書(複製)	Tyndale Biblr (Facsimile)	1976年／Paradine／紙	縦19.0×横17.0	大英図書館蔵(イギリス)	西南学院大学図書館	1
16	ジュネーヴ聖書(複製)	Geneva Biblr (Facsimile)	1977年／講談社／紙	縦25.6×横18.6		西南学院大学図書館	1
17	欽定訳聖書(複製)	King James Version (Facsimile)	1982年／南雲堂／紙(First Facsimile Edition: 1911年／Oxford University Press)	縦44.0×横33.0		西南学院大学図書館	1
18	シクスト・クレメンティーナ版ウルガタ聖書	Sixto-Clementine Vulgate	1892年／パリ／紙	縦18.2×横12.5		西南学院大学図書館(波多野培根氏旧蔵)	1
19	バプスト讚美歌集(複製)	Babst Hymnbook (Facsimile)	1988年／Barenreiter Verlag／紙	縦16.0×横11.0		西南学院大学博物館	1
補遺I 「宗教改革500周年記念」							
20	ルターの宗教大改革	The Reformers	2017年／キリスト新聞社・砂漠のキタキツネ／ボードゲーム	縦22.5×横16.3(外箱)		西南学院大学博物館	1

常設展示室テーマ展示 「日本人と紅毛文化」実施報告



会期：2018年9月～11月

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室

担当：中禮尚史(学芸調査員)

概要

江戸時代、幕府はキリスト教の流入を防ぐ目的などで異国との貿易を制限していた。西欧諸国の中で唯一貿易を許可されたオランダ人は天領長崎に作られた人工島、出島で貿易活動を行った。オランダ人は紅毛人と呼ばれ、出島を通じて西欧文化を日本にもたらした。日本人は自分たちと異なる容姿や文化を持つオランダ人を題材として多くの絵や工芸品などをつくった。本展示では、そのひとつである当館の所蔵資料を紹介した。

展示資料：紅毛人硯屏 19世紀／日本

常設展示室博物館ニュース展示

概要

2017年度より年3回刊行している「西南学院大学博物館ニュース」において、博物館資料の紹介を目的としたシリーズ「所蔵品紹介」の記事がある。本展示は、「所蔵品紹介」で取り上げられた資料を、博物館ニュースの刊行にあわせて常設展示室にて展示をするものである。「所蔵品紹介」の記事は学芸調査員が執筆をしており、本展示は担当学芸調査員の展示事業の現地訓練も兼ねている。

2017年度実施報告

2017年度は博物館ニュース展示をはじめて実施した。なお、初回のみ学芸調査員ではなく学芸研究員が執筆、展示を行った。

2017年6月博物館ニュース展示

「関谷定夫コレクション ハヌキヤ」

担当 山尾彩香(学芸研究員)

2017年9月博物館ニュース展示

「キリスト教文化 聖ペテロと聖パウロ」

担当 宮川由衣(学芸調査員)

2017年12月博物館ニュース展示

「日本キリスト教史 紙踏絵」

担当 中禮尚史(学芸調査員)



2018年度実施報告

2017年度から継続して、2018年度も博物館ニュース展示を実施した。ニュース刊行にあわせて計3回のニュース展示を実施し、それぞれキリスト教文化、関谷定夫コレクション、日本キリスト教史の資料から1点ずつを選出した。

2018年6月博物館ニュース展示

「キリスト教文化 聖母への奉納画」

担当 西山萌(学芸調査員)

2018年9月博物館ニュース展示

「関谷定夫コレクション テフィリン(聖句箱)」

担当 宮川由衣(学芸調査員)

2018年12月博物館ニュース展示

「日本キリスト教史 上野公園第三回内国勧業博覧会一覧之図」

担当 鬼束芽依(学芸調査員)



1.2 共同連携事業による展示活動

【南島原市】

産官学連携サテライト展示Ⅺ

「海外への窓口 KYUSHU・NAGASAKI Ⅲ —描かれたオランダ人—」



会期：2017年12月13日(水)～2018年3月4日(日)

会場：南島原市原城図書館

島原・天草一揆終結後、1639(寛永16)年、三代将軍徳川家光はポルトガル船の来航を禁止した。以降、約200年の間、ヨーロッパの国々のなかでは唯一オランダのみが交易を許可された。海外との交流が制限されていた江戸時代の日本人にとって、オランダ商館員たちはどのような存在であったのだろうか。

本企画展では、オランダ商館員をモチーフとして制作された文物を展示した。それらの資料からは、限られた環境



のなかで、江戸時代の人々が如何に「異国」に興味を持っていたかがうかがえる。江戸時代の人々の異国への好奇心に注目した。

産官学連携サテライト展示Ⅻ

「江戸時代に描かれた「日本」のかたち」

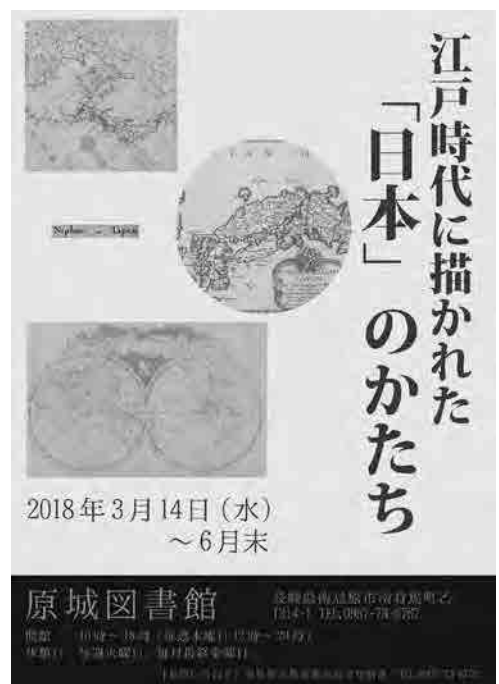
会期：2018年3月14日(水)～6月末

会場：南島原市原城図書館

16世紀中頃からはじまる日本とヨーロッパとの交流により、キリスト教やさまざまな技術、文化が伝えられた。他方で、ヨーロッパにおいてほとんど知られていなかった日本の情報も、来日した人々を通して伝えられていった。江戸時代には、徳川幕府によって異国との交流は制限されるが、断絶することはない。



そのような日本とヨーロッパの交流は、当時製作された「日本図」からもうかがえる。



本展覧会では、江戸時代にヨーロッパと日本で描かれた「日本」の地図に注目し、互いの情報や技術が伝播することによって徐々に精度の高い「日本図」が作られた様子を概観した。

相互貸借特集展示Ⅺ 「港町・口之津の歴史とくらし」



会期：2018年3月12日(月)～2018年6月中旬

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室

島原半島南端に位置し、良港に恵まれた口之津は、古くより交通の要衝、交易の窓口として栄えてきた。16世紀には、島原半島にポルトガル船が来航するようになり、領主・有馬義貞が口之津港を海外貿易に門戸を開放すると、平戸と並ぶ対外交易の港としてその名を知られるようになる。口之津港は、宣教師たちにとってキリスト教布教の一大拠点ともなり、有馬一族のキリスト教改宗により、当地ではキリシタン文化が花開いた。本展示では、時代に翻弄されながらも繁栄を繰り返してきた港町口之津の歴史とくらしを紹介した。



相互貸借特集展示Ⅻ 「中世・有馬領内の信仰」

会期：2018年7月23日(月)～2018年10月25日(木)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室

有馬領内にキリスト教が伝来したのは、永禄5(1562)年のアルメイダによる布教にはじまるが、それ以前の大永元(1521)年、深江に専称寺という浄土宗の寺院が開かれている。永禄元(1558)年には専称寺の末寺として三福寺が建立されており、キリシタン伝来前に浄土宗の寺院が有馬地方にあったことがうかがわれる。当時の庶民信仰は、路傍に立つ中世から近世初頭にかけての石仏で見ることができ、石仏は民衆が仏恩を享受できる数少ない仏さまであり、有力層の寺院本尊仏に相当する庶民の本尊仏であった。

庶民信仰をうかがわせる資料は、南有馬町の民家にある天文2(1533)年銘の「阿弥陀如来来迎図」自然石板碑や西有家町長野の芭蕉谷に永禄5(1566)年銘の「阿弥陀・地藏・観音」自然石板碑があり、16世紀前半から半ばにかけて浄土信仰が板碑を造立するほど盛んで、しかもその対象は上級者(禅宗)ではなく一般庶民の間で相当に広まっていたことが理解される。本展示では、こうした中世・有馬領内の信仰について紹介した。



【國學院大學博物館】

相互貸借特集展示 X X 「国分寺と古代瓦」実施報告

会期：2018年6月29日（金）～2018年10月11日（木）

会場：西南学院大学博物館常設展示室

主催：國學院大學博物館

開催概要

聖武天皇は、飢饉の頻発や天然痘の流行などから深く仏教に帰依した。天平13年（741）には、恭仁宮で国分寺建立の詔を発し、これにともなって諸国に金光明四天王護国之寺といわれる国分寺と、法華滅罪之寺といわれる国分尼寺、そして総国分寺である東大寺が建立される。これら諸寺の屋根は瓦で飾られ、各地には瓦生産をおこなう瓦屋が営まれた。国分寺跡から出土する瓦類には、軒丸瓦や軒平瓦などのほか、様々な文字瓦も含まれる。

本展示では、東大寺や関東の国分寺出土瓦を取り上げ、古代寺院の造営過程や地域性について紹介した。



2. 教育活動

博物館実習

実習概要

2018年度は実習生8名を受け入れ、2018年10月20日(土)から2019年1月12日(土)まで、計7日間の博物館実習を実施した。初日は、午前には館長挨拶および基礎学習となるオリエンテーションを行い、午後は企画展(博物館実習成果展)の展示計画を課題とした。展示計画では、資料選定から役割分担に至るまで実習生にすべて発案させ、展示企画書を提出させた。

実習2日目から4日目にかけては、企画展準備作業を指導した。展示企画書に基づき、リーダー、資料研究、広報、ワークショップ、デザインのグループに役割分担をし、企画展の準備を進めた。実習5日目は、午前は企画展の設営を行った。博物館1階常設展示室を会場とし、資料の梱包、搬出、搬入、造作等を学芸員指導のもと行い、設営を完了させた。午後は実習生主催のクリスマスコンサートの運営を行った。このコンサートは、西南学院大学応援指導部吹奏楽団の演奏によるコンサートであり、会場設営や総合司会、来場者の誘導など会場運営に関わるすべてを実習生が担当した。

実習6日目は、大学博物館主催の公開講演会の運営補助を実習とした。実習生には来場者の誘導やマイク回しなどを担当させ、講演会終了後には運営の反省会を開いた。

実習7日目(最終日)は、企画展の撤収を行った。設営のときと同様に、資料の梱包から搬出入、後片付けを行い、博物館業務における企画展の一連の作業を終了した。

【2018年度博物館実習生】

宮川由衣(国際文化研究科)／佐伯愛心(神学部神学科)／徳永有優南(法学部法律学科)／
古賀悠哉(人間科学部社会福祉学科)／濱田真実(国際文化学部国際文化学科)／
山中香音(国際文化学部国際文化学科)／大坪未歩(国際文化学部国際文化学科)／
下白石眞希(国際文化学部国際文化学科)

【実習風景】



西南学院大学博物館博物館実習スケジュール2018

実習生：8名

実習担当：下園知弥

期間：10月20日(土)、11月10日(土)、11月24日(土)、12月1日(土)、12月8日(土)、1月12日(土) 計6回

	10月20日(土)		11月10日(土)		11月24日(土)		12月1日(土)	
午前	10:00	博物館2階講堂集合	10:00	百年館3階実習室集合	10:00	百年館3階実習室集合	10:00	百年館3階実習室集合
	10:10	オリエンテーション 展示室見学 収蔵庫見学	10:10	企画展作業①	10:10	企画展作業③	10:10	実習生展・クリスマス企画 設営
午後	昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)	
	13:00	企画展の作り方について	13:00	進捗報告	13:00	進捗報告	13:00	実習生展・クリスマス企画 設営 (コンサート運営)
	14:00	企画展考案(クリスマス展) 企画書作成	13:30	企画展作業②	13:30	企画展作業④		
	16:30	企画展検討会・内容確定 作業担当決定	17:00		進捗報告・各種原稿の提出		17:00	進捗報告・最終確認
	17:30	実習日誌作成	17:30	実習日誌作成	17:30	実習日誌作成	17:30	実習日誌作成
	18:00	解散	18:00	解散	18:00	解散	18:00	解散

	12月8日(土)		1月12日(土)	
午前	10:00	百年館3階実習室集合	10:00	百年館3階実習室集合
	10:10	教育普及 座学 講演会準備	10:30	実習生展 撤収作業
午後	昼食(12:00 - 13:00)		昼食(12:00 - 13:00)	
	13:00	講演会運営	13:00	実習生展 撤収作業
	16:00	撤収作業・反省会	17:00	撤収完了・反省会
	17:30	実習日誌作成	17:30	実習日誌作成
	18:00	解散	18:00	解散

2018年度博物館実習成果展

「サンタクロース～本当の名前は聖ニコラウス?～」実施報告

会期：2018年12月1日(土)～2019年1月11日(金)

会場：西南学院大学博物館1階常設展示室

2018年度博物館実習成果展では、西南学院大学博物館が所蔵する資料を実習生が選別し、常設展示室内で企画展示を行った。実習生自ら、テーマを設定し、開催概要、キャプション、解説パネル、資料目録、解説シート、アンケート、ポスターや小物の作成、設営を行った。クリスマスというコンセプトは博物館が指定したが、サンタクロースというテーマの決定および調査研究はすべて実習生が主体となって行われた。

【開催概要】

全身赤い服装に真っ白な髭を蓄えた老人が、クリスマスの夜にトナカイのソリに乗り、子ども達のもとにプレゼントを運んでくれる。これが現代の我々がイメージする「サンタクロース」の姿である。クリスマスの季節になると、テレビや飾り付けなど至る所で見かけるその姿の源泉が、3-4世紀に実在した「聖ニコラウス」という名の聖人であることを知る者はどれほどいるだろうか。

9世紀頃から、ギリシアやロシアの東方正教会で、重要な聖人の一人として、広く崇敬されるようになった聖ニコラウスは、時代の流れと共に、数々の伝説や奇跡が広く伝播され、大陸を超え、彼を祝う祭りや贈り物を送る風習が生まれた。今日の「サンタクロース」の姿は、19世紀アメリカで、この贈り物を送る風習を商業分野に利用したことから誕生したものである。本展では、「聖ニコラウス」と世俗化された「サンタクロース」を紹介する。聖と俗の対比を通じて、新たな視点から見るサンタクロースの姿を楽しんでいただきたい。



企画概要

全身赤い服装に真っ白な髭を蓄えた老人が、クリスマスの夜にトナカイのソリに乗り、子ども達のもとにプレゼントを運んでくれる。これが現代の我々がイメージする「サンタクロース」の姿である。クリスマスの季節になると、テレビや飾り付けなど至る所で見かけるその姿の源泉が、3-4世紀に実在した「聖ニコラウス」という名の聖人であることを知る者はどれほどいるだろうか。

9世紀頃から、ギリシアやロシアの東方正教会で、重要な聖人の一人として、広く崇敬されるようになった聖ニコラウスは、時代の流れと共に、数々の伝説や奇跡が広く伝播され、大陸を超え、彼を祝う祭りや贈り物を送る風習が生まれた。今日の「サンタクロース」の姿は、19世紀アメリカで、この贈り物を送る風習を商業分野に利用したことから誕生したものである。本展では、「聖ニコラウス」と世俗化された「サンタクロース」を紹介する。聖と俗の対比を通じて、新たな視点から見るサンタクロースの姿を楽しんでいただきたい。

聖ニコラウス「黄金伝説」

4世紀にミラの主教を務めた聖ニコラウス(280-345/352)は、ギリシアやロシアの東方正教会において9世紀頃から最も重要な聖人の一人として広く崇敬されてきた。11世紀頃にはイタリアに伝わり、西欧でも民衆の篤い崇敬を集めるようになる。19世紀後半、ジェノヴァ大司教ヤコブス・デ・ウォッキキネによって編まれた聖人伝『黄金伝説』では聖ニコラウスについて多くの奇跡が伝えられているが、その生涯を代表するものが、聖ニコラウスが貧しい商人の娘たちを救ったという伝説である。商人には結婚相手があったが、困窮の挙句、娘たちが得た金で移住を志していた。これを聞いた聖ニコラウスは、夜ひそやかに隣家の窓に金塊を投げこんで帰った。「援助の手を差し伸べてくださる神のしるべは誰だろう」と思い、見物をすることにした商人は、それが聖ニコラウスであることを知った。こうした聖ニコラウス像は、17世紀オランダを経て、贈り物をつけるサンタクロースとして発展していった。

サンタクロースの変遷

オランダにおいて12月6日に行われる聖ニコラウス祭(シタ・クラス祭)は、翌年の豊饒を祈る、村の祭りであった。16世紀から始まった宗教改革により聖人を信仰の対象とすることが禁じられ、祭りは家族で過ごすような世俗性の強いものになっていった。

その後オランダはアメリカ大陸にニューアムステルダムを建設、この都市でも故郷と同様にシタ・クラス祭を祝っていた。1694年にイギリス領となった後も、シタ・クラス祭とその前夜に贈り物をする行事は引き継がれていった。

新たなサンタクロース像は、クレメント・ムアー(1779-1863年)の『セント・ニコラウスの訪問』(1822年)という詩から始まる。「クリスマスの前夜、……」から始まる詩で、ここでは贈り物をするのは12月5日から12月24日になっており、サンタクロースの特徴も現代のイメージとはほとんど変わらない。またイラストによってサンタクロース像に決定的な影響を与えたのは、トマス・ナスト(1840-1902年)である。彼のイラストには、換装机に座り手紙を読むサンタなど、日常のサンタを描いたものがある。こうしてアメリカにおいて親しみやすいサンタクロースが誕生した。

サンタクロースは商業分野でも使用されるようになり、その代表がコカ・コーラ社である。他国では緑や茶色の服で描かれることも多かったが、コカ・コーラ社のサンタクロースによって「丸々として、真っ赤な服を着た白い髭の老人」というイメージが世界中に広がっていった。

豆知識！！日本の始まりについて

日本におけるサンタクロースの始まりは1874年(明治7年)、原胤昭が東京第一長老教会で洗礼に感謝し、B六番女学校で聞いたクリスマス祭である。この祭のサンタクロースは純日本風で、袴をつけ、太刀小刀を差し、大森カツラをかぶり、殿様風の格好をしたサンタクロースであった。

※本配布物は博物館実習成果物として実習生が制作したものです。

【展示資料】

1. 聖ニコラウス

ドイツ／19世紀／ガラス製・着色／西南学院大学博物館蔵

2. Coca-Cola サンタクロースフィギュア Hi!]

コカ・コーラ社／2013年／樹脂／西南学院大学博物館蔵

【関連イベント】

1. 博物館クリスマスコンサート

協 力：西南学院大学応援指導部吹奏楽団

日 時：2018(平成30)年12月1日(土) 14:00～14:30

会 場：西南学院大学博物館2階講堂

定 員：150名(事前申込不要)

参加費：無料

【会期中来館者数】 開催日数27日

	来館者数
2018年12月1日	289
3日	49
4日	22
5日	46
6日	11
7日	13
8日	204
10日	127
11日	19
12日	33
13日	40
15日	21
17日	33
18日	13
19日	41
20日	8
21日	15
22日	15
24日	36
26日	2
27日	7

	来館者数
2019年1月7日	45
8日	2
9日	36
10日	2
11日	18
合 計	1,147

【アンケート】

番号	来館日	特別展のきっかけ	満足度	わかりやすさ	感想等	来館頻度	住まい	年代	性別	職業	西南関係者
1	12月1日	博物館前を通りかかって	満足	わかりやすい		月に一度	早良区	60代	女	その他 主婦	卒業生
2	12月3日	ポスター・チラシ	満足	普通	この建物そのものが好きです。初めて入ったのは娘が西南の入学した時でもうあれからずいぶんになります。このいすに座ってゆっくりするのが好きです。今回、サンタクロースも興味深く見ましたが、大村市にしばらく住んでいたのことがあるので、その部分の展示も興味深かったです。	年に数回	福岡市	60代	女	公務員	
3	12月6日	ポスター・チラシ	満足	わかりやすい		特別展ごと	福岡市	40代	女	その他	
4	12月6日	博物館前を通りかかって	大変満足	わかりやすい	偶然に前を通って入らせていただきました。とても美しい建物、落ち着いた雰囲気につきり癒されました。パイプオルガンも聞くことができました。また訪れてみたいです。	今回が初めて	福岡市	60代	女	自営	
5	12月7日	ポスター・チラシ	大変満足	わかりやすい		年に数回	福岡市	60代	女	大学院生	
6	12月8日	その他(特別展を見に来た)	満足	わかりやすい	ユダヤ教やアメリカのサンタクロースの起源がわかって良かった	今回が初めて	その他(山口県)	40代	女	公務員	
7	12月8日	博物館前を通りかかって	満足	わかりやすい		その他(2回目)	その他(北九州市)	50代	女	会社員	
8	12月8日	Twitter	大変満足	わかりやすい		今回が初めて	福岡市	50代	女	その他(専業主婦)	
9	12月8日	ポスター・チラシ	満足	わかりやすい	展示物がもう少し多くあればよかった。	特別展ごと	福岡市	40代	男	会社員	
10	12月8日	博物館前を通りかかって	大変満足	わかりやすい		年に数回	福岡市	60代	女	その他(主婦)	
11	12月8日	ポスター・チラシ	大変満足	わかりやすい	とても興味深く拝見致しました。	今回が初めて	福岡市		女	会社員	職員
12	12月8日	ポスター・チラシ、西南学院関係者から聞いた、博物館前を通りかかって	満足	わかりやすい	興味深い内容でした。	今回が初めて	福岡市	50代	女	その他	
13	12月8日	その他(友人に聞いて)	満足	わかりやすい	キリスト教に興味を持てた	今回が初めて	早良区	50代	男	その他(パート)	
14	12月8日	その他(来て知った)	大変満足	わかりやすい	サンタクロースはいたのね	その他(2回目)	その他	50代	女	会社員	
15	12月8日	ポスター・チラシ	普通			今回が初めて	福岡市(博多区)	50代	女	その他	
16	12月8日	博物館前を通りかかって	満足	普通	クリンタン講演の折に寄りました。聖ニコラウスがアジア生まれとは初めて知って驚きました。	今回が初めて	福岡市	50代	女	その他(主婦)	
17	12月11日				大変勉強になりました。キリスト教のありかたに感動、また、考えさせられる展示でした		福岡市				
18	12月11日	博物館前を通りかかって	満足	わかりやすい	聖ニコラウスのことを知れて、良かったです。	特別展ごと	早良区	40代	男	会社員	卒業生
19	12月12日	博物館前を通りかかって	大変満足	わかりやすい		年に数回	福岡市	60代	女	その他(主婦)	

番号	来館日	特別展のきっかけ	満足度	わかりやすさ	感想等	来館頻度	住まい	年代	性別	職業	西南関係者
20	12月12日	ポスター・チラシ、博物館前を通りかかって	満足	わかりやすい		年に数回	福岡県	20代	男	大学院生	学生
21	12月12日	ポスター・チラシ	満足	普通	ビッキ・ディ・ロレンツォの絵(パネル)は「3人の娘」に見えないですね。もっと展示が大きくてもよかった気がします。	年に数回	福岡県	50代	男	教員	非常勤
22	12月12日	その他(特別展を見て)	満足	普通	ちょっと特別展との配置、すみわりがやりづらかったです。(両者密接な関係ではありませんが)来館者にとってある種の物理的な区切りがあったほうが良いと思います。	今回が初めて	関東	50代	男	会社員	
23	12月13日	その他(特別展を見て)	普通	わかりやすい		年に数回	その他(東海)	70代	男	その他(無職)	
24	12月13日	博物館前を通りかかって	大変満足	わかりやすい		年に数回	福岡市	60代	女	その他(主婦)	
25	12月15日	ポスター・チラシ		普通	いやされました。	その他(3回目)	早良区	70代	男	その他(無職)	
26	12月20日	ポスター・チラシ、ホームページ、西南学院関係者から聞いた	大変満足	わかりやすい	クリスマス前に勉強する機会があつて良かったです。	その他(3回目)	福岡市	40代	女	その他(主婦)	
27	12月20日	西南学院関係者から聞いた	満足	わかりやすい		月に一度	福岡市	50代	女	会社員	職員
28	12月21日	ポスター・チラシ	満足	普通		今回が初めて	福岡市	50代	男	教員	
29	12月21日	博物館前を通りかかって	大変満足	わかりやすい		年に数回	福岡市	60代	女	その他(主婦)	
30	1月7日	博物館前を通りかかって	満足	わかりやすい	久しぶりに訪ねました。面白い内容でした。	その他(3回目)	福岡市	40代	女		卒業生
31	12月8日	ホームページ	大変満足している	わかりやすい		今回が初めて	福岡市	50代	女性	その他(主婦)	

2018年度 せいなんワークショップ概要

2018年度は「せいなんワークショップ」を計5回開催した。

第一回 6月1日(金)～6月30日(土) おたからをさがせ! クイズラリー

会場：西南学院大学博物館 対象：小学生 参加者：77名(累計)

設置型のワークショップ。ワークシートをもとに、常設展示室内に隠されたヒントを参考にしながらクイズを解き、クイズの答えから宝箱の鍵のありかを導き出してもらい、鍵で宝箱を開けて「おたから(缶バッチ)」を発見してもらった。



第二回 7月28日(土) オリジナルフォトフレームをつくろう

会場：西南学院大学博物館、西南学院大学1号館206教室 対象：小学生 参加者：40名

2018年度企画展「東方キリスト教との出会い」の関連イベント及び夏休みせいなんこどもワークショップとして開催。イコンを観察し、イコンの中の装飾や色彩をワークシートにて振り返り、その後各々好きなようにフォトフレームをデコレーションした。



第三回 11月10日(土) 和綴じでつくる! Myノート

会場：西南コミュニティーセンター 対象：一般(高校生以上) 参加者：6名

2018年度特別展「キリシタン」関連イベントとして開催。特別展のツアーを行った後、和紙と刺繍糸を使って和綴じノートを作った。



第四回 12月1日(土)～12月22日(土) クリスマスツリーを飾ろう！

会場：西南学院大学博物館エントランス 対象：どなたでも

2018年度博物館実習成果展「サンタクロースー本当の名前は聖ニコラウス？ー」関連イベントとして開催。来館者の方にメッセージカードやマスキングテープでそれぞれのツリーを装飾していただいた。ツリーの設置には実習生も協力した。



第五回 2月16日(土) カリグラフィでつくるグリーティングカード

会場：西南コミュニティーセンター 対象：一般(高校生以上) 参加者：4名

2018年度企画展「宗教改革と印刷革命」関連イベントとして開催。企画展のツアーを行った後、1章で出てくる写本に倣って、カリグラフィで聖句を書き、参加者の目的別のグリーティングカードを作成した。



2018年度 せいなんおでかけワークショップ概要

2018年度のおでかけワークショップは、長崎県南島原市からの依頼で2回のワークショップを実施した。

7月24日(火) 天草四郎をエコ・デコレーション in 口之津図書館

会場：南島原市口之津図書館 参加者：小中学生40名

南島原市文化財課職員による口之津の歴史と島原・天草一揆関連のこども向け講座を実施した後、いらないチラシや包装紙などを使って貼り絵をし、みんなで協力して巨大な天草四郎肖像画を完成させた。



7月25日(水) 歴史クイズ&ゲーム 原城のナゾ

会場：南島原市原城図書館 対象：小学生 参加者：70名

館内の各所にクイズコーナーやゲームエリアを設け、参加者はそれらをクリアしてまわった。世界文化遺産に登録された原城や南島原の特産品などを楽しく学んだ。



2018 年度 博物館教職員活動記録

後藤新治 (本学博物館長・国際文化学部教授)

【分担執筆】

- ・学校法人西南学院『西南学院百年史《通史編》』(西南学院百年史編纂委員会と共著、第6章第6節 1「図書館」pp.564-573、2019年3月)

【論文】

- ・「1950年献堂のアッシー教会と『聖なる芸術(ラルル・サクレ)』—ジョルジュ・ルオーとジェルメーヌ・リシエのキリスト像をめぐる(パナソニック汐留ミュージアム&北九州市立美術館『ジョルジュ・ルオー聖なる芸術とモデルニテ』展覧会図録、2018年9月)
- ・「1950年献堂のアッシー教会と『聖なる芸術(ラルル・サクレ)』—ジョルジュ・ルオーとジェルメーヌ・リシエのキリスト像をめぐる[加筆改訂]」(『国際文化論集』第33巻第2号、2019年2月)
- ・ジョルジュ・ルオーのアッシー教会ステンドグラス制作に関するポール・ボニーの覚書—ポール・ボニーからベルナル・ドリヴァルへ宛てた1955年11月2日付け書簡の翻訳と解説(『西南学院大学博物館研究紀要』第7号、2019年3月)

【翻訳】

- ・「ジョルジュ・ルオー『聖なる芸術(ラルル・サクレ)』について語る—モーリス・ブリヤンの質問に答えて」(パナソニック汐留ミュージアム&北九州市立美術館『ジョルジュ・ルオー聖なる芸術とモデルニテ』展覧会図録、2018年9月)

【資料】

- ・彼はなぜ教会に行かなかったのか—ジョルジュ・ルオー「聖なる芸術とモデルニテ」(東京新聞 2018年9月28日朝刊)
- ・「ジョルジュ・ルオーと20世紀の聖なる芸術」に関する参考文献(宮川由衣と共編、パナソニック汐留ミュージアム&北九州市立美術館『ジョルジュ・ルオー聖なる芸術とモデルニテ』展覧会図録、2018年9月)

【講演会】

- ・生物学者福岡伸一氏との対談「ルオー芸術における“動的平衡”をめぐる」(パナソニック汐留ミュージアム、2018年10月27日)
- ・北九州市立美術館ジョルジュ・ルオー展記念講演会「“礼拝堂=美術館”アッシー教会とルオーのステンドグラス—1950年代の『聖なる芸術(ラルル・サクレ)』をめぐる」(北九州市立美術館、2019年1月20日)
- ・第27回QMACセミナー「ルオーの道化師における『聖なるもの』」(Operation Table、2019年1月27日)

【講座】

- ・西南コミュニティーカレッジ「西洋近代美術にあらわれた『聖なるもの』」第1回「ルオーの道化師における『聖なるもの』」(西南学院大学コミュニティセンター、2018年11月19日)

【TV録画出演】

- ・日曜美術館「ジョルジュ・ルオー“聖顔”に込めた魂の救済」(NHK教育TV「日曜美術館」パナソニック汐留ミュージアム、2018年10月28日放映)

【委員】

- ・パナソニック汐留ミュージアム・ルオーギャラリー顧問
- ・福岡市美術館協議会会長
- ・福岡市美術館ロゴ・シンボルマーク選考委員会委員長

下園知弥 (本学博物館教員)

【論文】

- ・中世を継承した宗教改革——聖書史の考察に即して——(下園知弥、宮川由衣、山尾彩香共編『宗教改革と印刷革命』西南学院大学博物館、2019年1月)
- ・「リラのニコラウスによる聖句註解付きラテン語聖書2」(『西南学院大学博物館研究紀要』第7号、西南学院大学博物館、2019年)

【解説】

- ・「書物としての聖書」(下園知弥、宮川由衣、山尾彩香共編『宗教改革と印刷革命』西南学院大学博物館、2019年1月)
- ・海外雑誌論文紹介：Nieuwenhove, Rik Van. "Contemplation, Intellectus, and Simplex Intuitus in Aquinas: Recovering a Neoplatonic Theme." In American Catholic Philosophical Quarterly, Volume 91 (京大中世哲学研究会編『中世哲学研究VERITAS』第37号、2018年11月)
- ・海外雑誌論文紹介：Brugarolas, Miguel. "Divine Simplicity and Creation of Man: Gregory of Nyssa on the Distinction between the Uncreated and the Created." In American Catholic Philosophical Quarterly, Volume 91. (京大中世哲学研究会編『中世哲学研究VERITAS』第37号、2018年11月)

【学会発表】

- ・クレルヴォーのベルナルドゥスにおける愛概念——『神を愛することについて』を中心として——(日本基督教学会九州支部会(於西南学院大学、2019年3月))

【講座】

- ・西南コミュニティーカレッジ「西洋写本学入門」(全5回)(西南学院大学コミュニティセンター、2018年10月16日～11月13日)
- ・西南コミュニティーカレッジ「西洋近代美術にあらわれた『聖なるもの』第2回「シンベリの天使と悪魔における『聖なるもの』」(西南学院大学コミュニティセンター、2018年11月26日)

野藤妙 (本学博物館学芸研究員)

【論文】

- ・「ヨーロッパで出版された『日本切支丹殉教報告』——雲仙地獄の山入りを中心に——(『キリシタン—日本とキリスト教の469年—』展図録、國學院大學博物館・西南学院大学博物館、2018年9月)

山尾彩香 (本学博物館学芸研究員)

【解説】

- ・インキュナブラの二大活字—Gothic and Roman— (下園知弥、宮川由衣、山尾彩香共編『宗教改革と印刷革命』西南学院大学博物館、2019年1月)

【講座】

- ・西南コミュニティーカレッジ「西洋近代美術にあらわれた『聖なるもの』」第5回「マリアの表象における『聖なるもの』」(西南学院大学コミュニティセンター、2018年12月17日)

宮川由衣 (本学博物館学芸調査員/学芸研究員)

【資料】

- ・「ジョルジュ・ルオーと20世紀の聖なる芸術」に関する参考文献(後藤新治と共編、パナソニック 汐留ミュージアム&北九州市立美術館『ジョルジュ・ルオー聖なる芸術とモデルニテ』展覧会図録、2018年9月)

【論文】

- ・「イコン—受肉の神秘への眼差し」(宮川由衣、中禮尚史共編『東方キリスト教との出会い—祈りのかたちとその拡がり—』西南学院大学博物館、2018年7月)
- ・「カトリック改革—聖像画をめぐる教令を中心として—」(下園知弥、宮川由衣、山尾彩香共編『宗教改革と印刷革命』西南学院大学博物館、2019年1月)
- ・「M・シャガールによるカルヴェール礼拝堂の装飾構想—〈聖書のメッセージ〉連作における有機的構造をめぐる—」(『西南学院大学博物館研究紀要』第7号、西南学院大学博物館、2019年3月)

【解説】

- ・「東方・ギリシア教父の伝統」(宮川由衣、中禮尚史共編『東方キリスト教との出会い—祈りのかたちとその拡がり—』西南学院大学博物館、2018年7月)
- ・「祈りのかたち—聖山アトスと修道的伝統」(宮川由衣、中禮尚史共編『東方キリスト教との出会い—祈りのかたちとその拡がり—』西南学院大学博物館、2018年7月)
- ・「キリスト像の成立—記号から肖像へ」(宮川由衣、中禮尚史共編『東方キリスト教との出会い—祈りのかたちとその拡がり—』西南学院大学博物館、2018年7月)
- ・「聖母子のイコン—聖母の庇護とその拡がり」(宮川由衣、中禮尚史共編『東方キリスト教との出会い—祈りのかたちとその拡がり—』西南学院大学博物館、2018年7月)
- ・「山下りんとイコン—祈りのかたちを見つめて」(宮川由衣、中禮尚史共編『東方キリスト教との出会い—祈りのかたちとその拡がり—』西南学院大学博物館、2018年7月)

【講座】

- ・西南コミュニティーカレッジ「西洋近代美術にあらわれた『聖なるもの』」第3回「シャガールの聖書表象における『聖なるもの』」(西南学院大学コミュニティセンター、2018年12月1日)

西山萌 (本学博物館学芸調査員)

【資料紹介】

- ・「西南学院大学博物館所蔵《聖母への奉納画》」(『西南学院大学博物館研究紀要』第7号、西南学院大学博物館、2019年3月)

中禮尚史 (本学博物館学芸調査員)

【論文】

- ・「日本ハリストス正教会と九州一人吉ハリストス正教会(生神女庇護聖堂)について一」(宮川由衣、中禮尚史共編『東方キリスト教との出会い—祈りのかたちとその拡がり—』西南学院大学博物館、2018年7月)

博物館刊行物・成果物

特別展図録

A 4 版
132頁
発刊日
2018年9月15日
編者
國學院大學博物館
西南学院大学博物館



目次

ごあいさつ

國學院大學博物館館長 笹生 衛…………… 2

西南学院大学博物館館長 後藤 新治…………… 3

凡例／謝辞…………… 5

開催概要…………… 6

序章

日本宗教の重層性…………… 7

第I章

キリスト教の伝来と普及…………… 11

第1節 フランシスコ・ザビエル来航—イエズス会の適応主義— …… 12

Topics1 南蛮文化—欧風文物の造形— …… 16

第2節 キリスト教の定着—キリシタン版と聖品— …… 18

Topics2 キリシタンによる廃仏毀釈—禁教の一因— …… 22

Topics3 地下に眠るキリシタン …… 23

第3節 海を渡った日本人キリシタン—天正遣欧使節— …… 24

Topics4 千々石ミゲル夫妻墓が語るもの …… 26

第II章

禁教政策の展開…………… 28

第1節 受難のはじまり—バテレン追放からキリシタン禁制へ— …… 29

第2節 島原・天草一揆—悪政に対して— …… 33

第3節 江戸幕府の禁教政策—民衆統制と「崩れ」— …… 44

Topics5 切支丹屋敷とシドッチ …… 50

第III章

キリスト教解禁への道程—開国と明治…………… 54

第1節 「信徒発見」と再布教 …… 55

第2節 浦上四番崩れ—キリシタン最後の「旅」— …… 60

第3節 明治宗教政策とキリスト教解禁 …… 71

第IV章

「隠れキリシタン」の伝統 …… 77

終章…………… 83

年表…………… 84

目録…………… 86

主要参考文献…………… 88

論考…………… 91

幸せなキリシタン

—歴史観の転換— 今野 春樹…………… 92

天正遣欧使節と千々石ミゲル

—伊木力のミゲル夫妻墓所発掘から見えてきたもの— 大石 一久 96

原城を目指した武士たち

—幕府軍はどのように構成されたか— 木村 直樹…………… 100

諸藩による島原天草一揆の記録と記憶 大橋 幸泰…………… 104

踏絵認識論

—日本資料と外国資料の検討を通じて— 安高 啓明…………… 107

ヨーロッパで出版された『日本切支丹殉教報告』

—雲仙地獄の山入りを中心に— 野藤 妙…………… 116

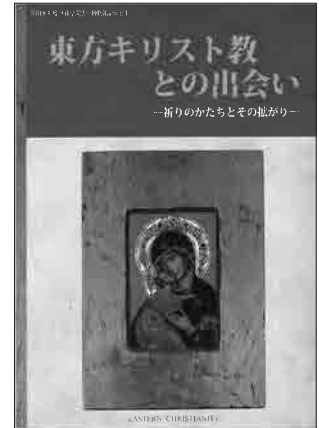
かくれキリシタン信仰

—キリシタン信仰の実相— 中園 成生…………… 124

キリシタン展に寄せて 深澤 太郎…………… 129

2018年度 西南学院大学 博物館企画展 I

A 4 版
33頁
発刊日
2018年7月17日
編者
宮川由衣
中禮尚史



目次

ごあいさつ

西南学院大学博物館館長 後藤新治

開催概要…………… 1

目次・凡例…………… 2

第1章 東方キリスト教の世界———光は東方より…………… 3

第2章 イコン———祈りのかたち…………… 9

1節 ウラジーミルの聖母———聖なる写し …… 9

2節 イコンと素材———物質の聖化 …… 14

3節 19世紀ロシア・イコンと山下りん …… 17

第3章 祈りの根がかり———日本と正教会…………… 19

1節 聖ニコライによる布教運動 …… 19

2節 日本ハリストス正教会の祈り …… 22

論考

イコン———受肉の神秘への眼差し

西南学院大学博物館学芸調査員 宮川由衣…………… 26

日本ハリストス正教会と九州

———人吉ハリストス正教会(生神女庇護聖堂)について——

西南学院大学博物館学芸調査員 中禮尚史…………… 29

出品目録…………… 32

2018年度
西南学院大学
博物館企画展Ⅱ

A4版
33頁
発刊日
2019年1月15日
編者
下園知弥
宮川由衣
山尾彩香



目次

ごあいさつ

西南学院大学博物館館長 後藤新治
開催概要…………… 1
目次／凡例／謝辞…………… 2

第1章 古代・中世の聖書写本…………… 3
【コラム】 書物としての聖書 西南学院大学博物館学芸員 下園知弥 8
第2章 印刷革命…………… 9
【コラム】 インクナブラの二大活字 --Gothic and Roman--
西南学院大学博物館学芸員 山尾彩香 …… 14
第3章 宗教改革と活版印刷聖書 …… 15
【コラム】 宗教改革と賛美歌 西南学院大学博物館調査員 西山萌 22

補遺I 宗教改革500周年…………… 23
補遺II 西南学院と宗教改革500周年記念 …… 24

論考

中世を継承した宗教改革--聖書史の考察に即して--
西南学院大学博物館学芸員 下園知弥…………… 25
カトリック改革--聖像画をめぐる教令を中心として--
西南学院大学博物館学芸員 宮川由衣…………… 28

出品目録…………… 31
主要参考文献…………… 32

西南学院大学博物館
研究紀要第7号

A4版
81頁
発行日
2019(平成31)年3月10日

目次

一 論 文 一
ジョルジュ・ルオーのアッシェ教会ステンドグラス制作に関するポール・ボニーの覚書
—ポール・ボニーからベルナルド・ドリヴァルへ宛てた
1955年11月2日付け書簡の翻訳と解説— 後藤 新治…………… 3

M・シャガールによるカルヴェール礼拝堂の装飾構想
—(聖書のメッセージ)連作における有機的構想をめぐって—
宮川 由衣…………… 23

享保期島原藩における唐船打ち払いと漂着対応 久保 春香
安高 啓明…………… 35

—資料紹介—
西南学院大学博物館所蔵
「リラのニコラウスによる聖句註解付きラテン語聖書」2 下園知弥 …… 57

西南学院大学博物館蔵《聖母への奉納画》 西山 萌 …… 75

博物館ニュース Volume.34



Volume.34
所蔵品紹介：【キリスト教文化】「聖母への奉納画」
聖書植物園紹介：エトログ
企画展紹介：地下墓地 カコンペの世界 / 東方キリスト教との出会い ―祈りのかたちとその拡がり―
博物館通信：企画展「西南学院とW. M. ヴォーリス」ほか

博物館ニュース Volume.35



Volume.35
所蔵品紹介：【関谷定夫コレクション】「テフリン(聖句箱)」
聖書植物園紹介：イチジク
特別展紹介：キリシタン―日本とキリスト教の469年―
博物館通信：企画展「東方キリスト教との出会い」ほか

博物館ニュース Volume.36



Volume.36
所蔵品紹介：【日本キリスト教史】「上野公園第三回国内勲業博覧会一覽之図」
聖書植物園紹介：ローズマリー / 香り草
企画展紹介：宗教改革と印刷革命
博物館通信：せいなんワークショップ「和綴じでつくる! my ノート」ほか

3. 来館者動向

来館者統計

2018年度

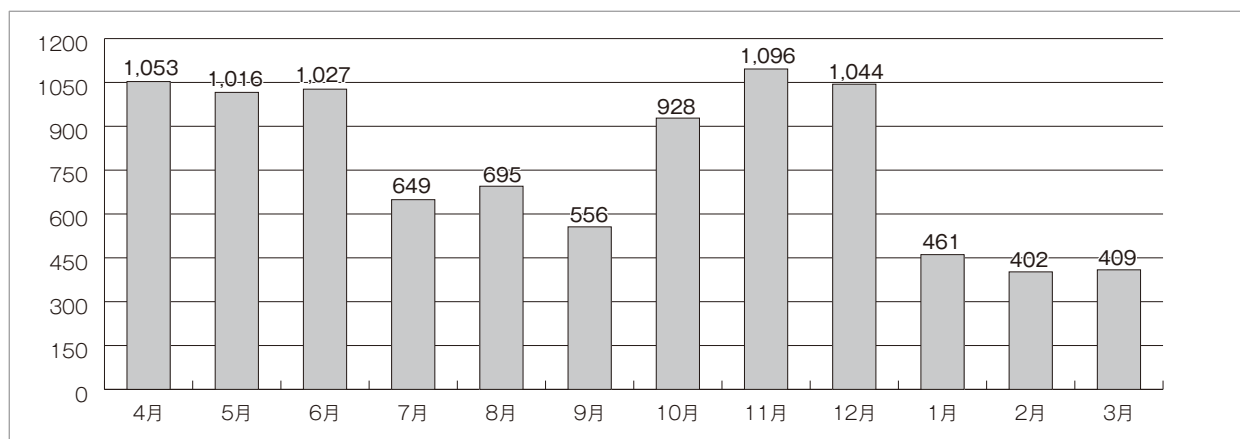
開館以来来館者数 156,074人
 2018年度来館者数 9,336人
 2006・2017年年度来館者数 146,738人
前年度人数 10,458人 (前年度比 -0.8%)

2018年度 月別来館者統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
開館日数	25	27	26	27	21	25	22	25	21	21	24	25	289	
学内	教職員	98	12	10	12	13	6	17	44	10	12	6	245	
	本学学生	329	400	235	92	54	196	207	426	440	152	27	2,569	
	学内小計	427	412	245	104	67	202	224	470	450	164	33	2,814	
学外	大人(一般)	351	420	495	391	319	288	404	555	523	236	301	331	4,614
	他大学生	29	46	21	7	4	20	12	25	0	3	7	18	192
	高校生	3	1	142	80	179	0	256	2	2	15	17	2	699
	中学生	209	4	30	2	17	3	0	2	2	1	5	2	277
	小学生	16	121	62	56	89	35	13	15	30	3	10	21	471
	幼児	18	12	32	9	20	8	19	27	37	39	29	19	269
	学外小計	626	604	782	545	628	354	704	626	594	297	369	393	6,522
海外居住者	14	19	46	95	104	20	13	108	23	103	60	42	647	
男女比	男性	224	248	279	239	197	192	315	305	240	121	136	145	2,641
	女性	198	234	324	216	271	226	294	319	199	119	145	164	2,709
	不明	631	534	424	194	227	138	319	472	605	221	121	100	3,986
合計	1,053	1,016	1,027	649	695	556	928	1,096	1,044	461	402	409	9,336	

月別来館者数 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1,053	1,016	1,027	649	695	556	928	1,096	1,044	461	402	409



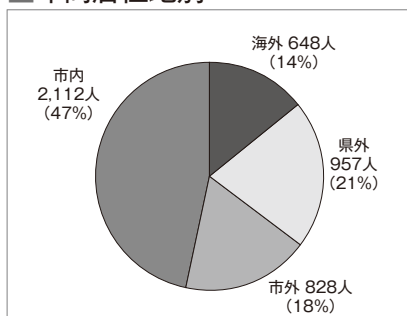
月別開館日数 (単位：日)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25	27	26	25	21	25	22	25	21	21	24	25	287

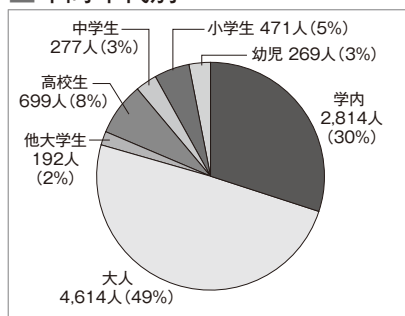
月別1日あたり平均来館者数 (単位：人)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
42.1	37.6	39.5	26.0	33.1	22.2	42.2	43.8	49.7	22.0	16.8	16.4	32.6

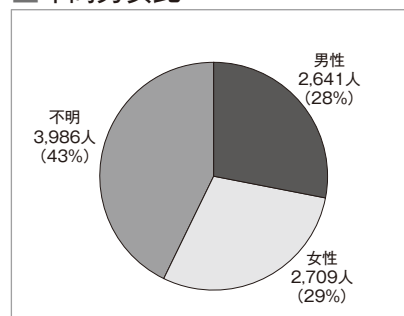
年間居住地別



年間年代別



年間男女比



特別展期間中来館者動向

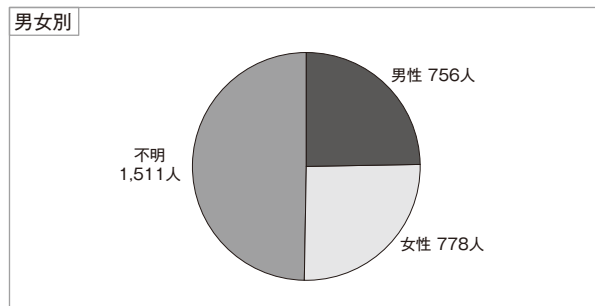
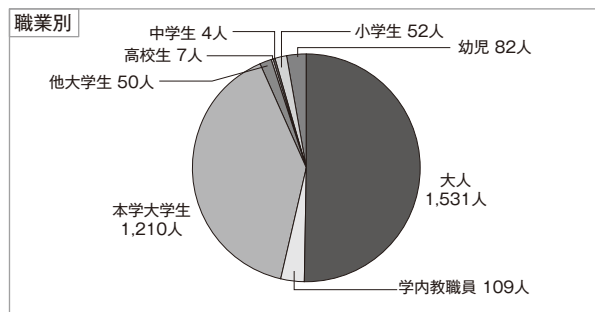
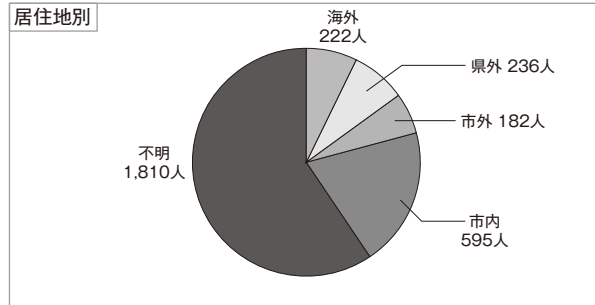
■第24回特別展

西南学院大学博物館2018年度秋季特別展
「キリシタン—日本とキリスト教の469年—」

開催期間：2018年11月2日～12月13日

開催日数：36日

総来館者数：3,045人



来館団体一覧

期日	見学時間	団体名・使用目的	人数
4月3日	11:00～	新任教職員オリエンテーション・見学	52
4月5日	9:00～	神学部始業礼拝	110
4月9日	9:55～	西南学院史	100
4月9日		神学部礼拝	34
4月10日	13:30～	ヤスパー先生講義	25
4月13日	12:30～	西南学院中学校オリエンテーション	210
4月16日		神学部礼拝	37
4月19日	13:30～	山田順先生ゼミ	16
4月20日	10:30～	山田順先生ゼミ	
4月20日	15:00～	金曜会	40
4月23日		神学部礼拝	32
4月27日	15:00～	久留米大学授業	21
5月11日		山田先生ゼミ授業基礎演習	20
5月12日	15:00～	博多学	38
5月12日	15:00～	ガイドツアー	7
5月14日		神学部礼拝	26
5月17日	11:30～	福岡市美術館MWツアー	24
5月18日	11:00～	西南小学校2年生	75
5月23日		村岡先生ゼミ	19
5月24日	9:00～	宮平望先生授業	
5月25日	9:00～	宮平望先生授業	
5月28日		神学部礼拝	25
5月31日		宮平望先生大学院授業	7
5月31日	16:50～	博物館概論	26
6月1日	16:20～	伊藤慎二先生授業	30
6月4日		神学部礼拝	30
6月7日	10:15～	豊浦高校入試課	
6月11日		神学部礼拝	30
6月11日	16:20～	博物館資料論	20
6月13日	9:00～	松谷先生授業	
6月14日	12:30～	学術講演会	40
6月14日	14:10～	九州地区高等学校進路指導研究協議会	25
6月18日		神学部礼拝	32
6月19日		唐津西高校	100
6月26日	12:30～	鎮西学院高校PTA	50
6月28日	16:00～	法学部講演会	50
6月28日		国際センター台湾	18
6月29日	10:30～	筑紫丘小学校六年生	71
7月2日		神学部礼拝	31
7月5日	11:30～	野田学園PTA	64
7月10日		光陵高校	
7月11日	14:00～	萩光塩高校入試課	40
7月23日		神学部	48
7月27日		入試課	23
7月28日		こどもワークショップ	65
7月30日		西南高校写真部	15
8月2日	14:00～	玄洋高校入試課	50
8月8日	13:00～	URボランティア	23
8月9日		C.C.C	29

期日	見学時間	団体名・使用目的	人数
8月9日	13:00～	URボランティア	30
8月20日	14:00～	留学生別科キャンパスツアー	
9月10日	13:00～	ボランティアセンター	20
9月25日		西南学院史	100
9月25日	13:30～	博物館の世界	32
9月27日		宮崎克則先生ゼミ2年生	15
10月1日	13:00～	博物館の世界	27
10月4日		宮平望先生「キリスト教学」授業	40
10月6日	13:00～	企画展関連シンポジウム	
10月9日	13:00～	博物館の世界	25
10月10日	10:00～	福岡魁誠高校	43
10月15日		神学部チャペル	24
10月16日		つくし郷土史会	21
10月18日	12:30～	武蔵台高校	215
10月19日		宮平望先生「キリスト教学」講義	20
10月22日		神学部チャペル	45
10月27日	14:00～	九州国立博物館ボランティア	31
11月2日		宮平望先生授業	21
11月3日	10:00～	フラウエンコール	23
11月5日		神学部礼拝	24
11月5日		博物館の世界	28
11月10日		九大・佐賀大・西南大憲法ゼミ	29
11月12日		神学部礼拝	40
11月12日		博物館の世界	26
11月13日		ラブソナタ	38
11月14日		韓国ボハンキップメ教会	8
11月15日		ラブソナタ	38
11月17日	10:00～	フラウエンコール	20
11月19日		神学部礼拝	28
11月19日	13:00～	博物館の世界	26
11月26日		神学部ロングチャペル	39
12月1日	14:00～	ミュージアムコンサート	135
12月1日	14:55～	キリスト教学	138
12月3日		神学部礼拝	22
12月8日	14:00～	ミュージアムセッション	130
12月17日		神学部礼拝	20
12月20日	14:00～	小倉南高校入試課	80
12月21日	14:00～	小倉南高校入試課	80
12月24日		西南学院中学卒業生	14
1月17日		キリスト教学	5
2月2日		シンポジウム	70
2月14日		日韓交流プログラム	17
2月16日	14:00～	ワークショップ参加者	4
2月25日		ドイツ語バイブルクラス	4
2月26日		留学生別科	17
3月9日		西南高校卒業生	6
3月13日	17:00～	レクチャーコンサート	150
3月19日	10:30～	神学部卒業礼拝	110

博物館講堂使用状況

期日	使用時間	使用団体(者)	集会名称	人数
4月5日	9:00~13:45	西南学院大学神学部	神学部始業礼拝、開講講演	110
4月10日	13:30~14:30	西南学院大学留学生別科	ヴォーリズ建築紹介	25
4月13日	12:30~15:00	西南学院中学校	西南学院中学校新入生オリエンテーション	210
4月20日	15:05~15:55	西南学院大学大学職員総務係	西部地区金曜会キャンパスツアー	40
4月28日	9:45~17:00	日本コダーイ協会	日本各地を結ぶコダーイ・セミナー	40
5月2日	16:00~18:00	西南学院大学聖歌隊チャペルクワイア	リハーサル練習	10
5月12日	15:00~16:00	福博の歴史と文化訪問・博多学	福博の歴史と文化訪問・博多学 現地訪問	未集計
5月17日	11:30~12:00	福岡市美術館ギャラリーガイドボランティア	街歩きアートツアー 作品と聖書植物の解説	24
6月1日	17:30~18:20	西南学院大学国際文化学部	文化のダイナミズム 西南学院と戦争	10
6月11日	16:20~17:50	博物館資料論	博物館資料論	18
6月13日	9:00~12:40	キリスト教学	聖書と音楽	
6月14日	12:30~15:30	西南学院大学神学部	学術講演会「革命的な女性についての三つの聖書物語」	95
6月28日	16:00~18:10	法学部 教育支援プログラム(A)	ことばの力養成講座	53
6月30日	13:00~17:00	「慰安婦」問題の解決を求める九州キリスト者の会	講演・学習会「慰安婦」問題の歴史とその解決の道を探る	110
7月23日	10:40~12:10	西南学院大学神学部	神学部礼拝 講演「和解の務めに仕える」	未集計
7月30日	13:00~14:00	西南学院高校写真部	写真撮影	未集計
9月4日	13:30~15:00	西南ベンチャーサークル	ロケ地のリサーチ	未集計
9月15日	14:30~17:00	古澤嘉生先生を囲む会	歌唱指導・懇親・会議	15
9月25日	13:00~14:30	博物館の世界	博物館の世界	34
10月1日	13:00~14:30	博物館の世界	博物館の世界	27
10月9日	13:30~14:30	博物館の世界	博物館の世界	27
10月18日	12:30~13:30	武蔵台高校	博物館見学	150
10月22日	10:40~12:10	西南学院大学神学部	神学部礼拝 講演「人を支える言葉：幸いなるかな」	未集計
10月27日	14:00~16:00	九州国立博物館ボランティア	博物館見学	35
11月3日	10:00~13:00	フラウエン・コール	合唱練習	25
11月13日	14:30~17:00	ラブ・ソナタ福岡実行委員会	博物館見学 礼拝	55
11月15日	16:00~17:00	ラブ・ソナタ福岡実行委員会	博物館見学 礼拝	36
11月15日	12:30~17:00	フラウエン・コール	11月16日チャペル『音楽の夕べ』 リハーサル	25
11月16日	12:30~15:00	フラウエン・コール	11月16日チャペル『音楽の夕べ』 本番当日練習	25
11月19日	13:00~14:30	博物館の世界	博物館の世界	30
11月17日	10:00~13:30	フラウエン・コール	合唱練習	28
11月23日	11:00~12:00	西南学院大学卒業生(野口健児さま)	結婚記念写真撮影	13
11月26日	13:00~14:30	博物館の世界	博物館の世界	30
12月5日	15:00~17:00	チャペルクワイア	合唱練習	20
12月10日	8:30~10:30	西南学院史(2)	西南学院史(2)	92
12月19日	15:00~17:00	チャペルクワイア	合唱練習	20
12月24日	14:30~15:50	グリーン会	グリーン会同窓会	10
3月19日	10:30~15:50	西南学院大学神学部	神学部卒業礼拝	100
3月23日	8:15~12:00	Seinan English Camp	Seinan English Camp 開会式	50
月曜日	11:00~12:00	西南学院大学神学部	神学部礼拝	50
火曜日	13:30~16:40	西南学院大学神学部	教会音楽研究	18

4. 博物館規定

西南学院大学博物館規程

2005(平成17)年10月5日
制定

(趣旨)

第1条 この規程は、西南学院大学学則（1949(昭和24)年4月1日）第5条に基づき、西南学院大学（以下「本学」という。）に設置する博物館に関する必要な事項を定める。

(名称及び位置)

第2条 名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
西南学院大学博物館(ドージャー記念館)	福岡市早良区西新三丁目13番1号

(目的)

第3条 西南学院大学博物館（以下「博物館」という。）は、次に掲げる事項を目的とする。

- (1) キリスト教文化、教育文化、地域文化、西南学院史等に関する博物館資料（以下「資料」という。）の収集、整理、保管、閲覧及び展示に関する事項
- (2) 前号の資料の調査研究に関する事項
- (3) 本学学生、教職員等の西南学院関係者並びに一般市民等の教養及び調査研究に資するために必要な事業の実施に関する事項

(事業)

第4条 博物館は、前条の目的を達成するために次に掲げる事業を行う。

- (1) 実物、標本、模型、文献、図表、写真、スライド、ビデオ、DVD、CD等の収集、整理、保管、閲覧及び展示
- (2) 資料に関する専門的及び技術的な調査研究の実施
- (3) 本学学生、教職員等の学院関係者及び一般市民等への資料に関する必要な解説、助言、指導等
- (4) 資料に関する講演会、講習会、研究会等の主催及びその開催の援助
- (5) 資料に関する案内書、解説書、目録、年報、調査報告書等の作成及び頒布
- (6) 他の博物館等との刊行物及び情報の交換並びに博物館資料の相互貸借の実施
- (7) 本学学生に対する博物館実習の実施
- (8) その他必要と認められる事業

(職員)

第5条 博物館に、館長その他必要な職員を置く。

第6条 館長は、館務を統括し、博物館を代表する。

2 館長は、本学の専任教授のうちから、博物館長選考委員会（以下「委員会」という。）の推薦に基づき、部長会議の承認を経て、学長がこれを補する。

3 委員会は、次に掲げる委員4名をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 神学部長
- (3) 人間科学部長
- (4) 国際文化学部長

4 館長の任期は、2年とし、再任を妨げない。

第7条 博物館に、博物館教員として学芸員を置く。

2 前項の他に学芸員資格を有する本学教員を加えることができる。

3 博物館教員は、資料の収集、整理、保管、閲覧、展示及び調査研究その他これに関する事項について、専門的業務を行う。

4 博物館教員は、学芸員課程及び専門分野の授業を担当することができる。

第8条 博物館に社会連携課博物館事務室（以下「博物館事務室」という。）を置き、事務職員、学芸研究員及び学芸調査員を配置する。

2 事務職員は、博物館運営に係る事項及び庶務の事項を行う。

3 学芸研究員は、博物館教員の専門的業務及び事務職員の業務を補佐する。

4 学芸調査員は、学芸研究員の業務及び事務職員の業務を補佐する。

(博物館協議会)

第9条 博物館に、館長の諮問に答えるための機関として西南学院大学博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

第10条 協議会に関する事項は、西南学院大学博物館協議会規則（2005(平成17)年10月5日）に定める。

(博物館の管理運営)

第11条 博物館の利用及び管理運営については、西南学院大学博物館管理運営規則（2005(平成17)年10月5日）（以下「管理運営規則」という。）に定める。

(規格外事項の処理)

第12条 この規程に定めのない事項で博物館に関して必要な事項は、協議会の意見を聴いて、館長が定める。

(所管部署)

第13条 この規程に関する事務は、博物館事務室の所管とする。

(規程の改廃)

第14条 この規程の改廃は、管理運営規則第12条に規定する博物館管理運営委員会及び部長会議の議を経て、学長が行う。

附 則

1 この規程は、2006(平成18)年4月1日から施行する。

2 初代館長の任期は、第6条第3項の規定にかかわらず、2006(平成18)年4月1日から2007(平成19)年6月30日までとする。

附 則

この規程は、2014(平成26)年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2018(平成30)年4月1日から施行する

附 則

この規程は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館協議会規則

2005(平成17)年10月5日
制定

(趣旨)

第1条 この規則は、西南学院大学博物館規程（2005(平成17)年10月5日）第9条に規定する西南学院大学博物館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。

(所掌事項)

第2条 協議会は、西南学院大学博物館（以下「博物館」という。）の運営に関し、館長の諮問に応えるとともに、博物館の行う博物館資料の収集、整理、保管、閲覧及び展示に関して調査審議し、館長に意見を述べるものとする。
2 前項の博物館資料の収集については、西南学院大学博物館資料収集検討委員会内規（2016(平成28)年3月9日）に定める。

(委員)

第3条 協議会は、次に掲げる委員6名をもって構成する。

- (1) 学芸員資格をもつ大学教員1名
- (2) 大学教員1名
- (3) 本部・大学事務職員1名
- (4) 学外の博物館関係者3名

第4条 前条に掲げる協議会の委員は、館長が指名する。

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(会長及び副会長)

第6条 協議会に、会長及び副会長各1名を置く。

第7条 会長及び副会長は、委員の互選によるものとし、任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

第8条 会長は、会務を総理する。

第9条 副会長は、会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議の招集)

第10条 協議会の会議は、必要に応じ、会長が招集する。

- 2 館長が必要と認めたとときは、会長に協議会の招集を求めることができる。

(議決)

第11条 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、成立しない。

- 2 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(補則)

第12条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(所管部署)

第13条 この規則に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

(規則の改廃)

第14条 この規則の改廃は、協議会の議を経て、部長会議が処理する。この場合において、その実施には、学長の承認を得ることとする。

附 則

- 1 この規則は、2006(平成18)年4月1日から施行する。
- 2 初代委員及び同会長、同副会長の任期は、第5条及び第7条の規定にかかわらず、2006(平成18)年4月1日から2007(平成19)年6月30日までとする。

附 則

この規則は、2016(平成28)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館管理運営規則

2005(平成17)年10月5日
制定

(趣旨)

第1条 この規則は、西南学院大学博物館規程(2005(平成17)年10月5日)第11条に基づき、西南学院大学博物館(以下「博物館」という。)の利用及び管理運営について定める。

(休館日)

第2条 博物館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) キリスト降誕祭(12月25日)
- (3) 年末年始の休日(12月28日から1月5日)

2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めるときは、臨時に休館又は開館することができる。ただし、この場合は、館長は、その都度あらかじめ日時を公示しなければならない。

(開館時間)

第3条 博物館の開館時間は、午前10時から午後6時までとする。ただし、入館は午後5時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、館長が必要と認めるときは、当該時間を変更することができる。

(入館料)

第4条 入館料は、無料とする。

2 前項の規定にかかわらず、特別展示など館長が必要と認めるときは、有料とすることができる。

(入館の制限)

第5条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合、入館を禁じ、又は退館を命じることができる。

- (1) 他人に迷惑をかけ、展示品、保管物又は施設設備を損傷するおそれがあると認められるとき
- (2) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき
- (3) その他管理上支障があると認められるとき

(資料の閲覧等)

第6条 館長が必要と認めるときは、利用者の依頼により、その調査研究の用に供するために、博物館の所蔵する資料(以下「資料」という。)の閲覧又は複写を許可することができる。

2 資料の閲覧又は複写をしようとする者は、あらかじめ資料の閲覧又は複写の申請をしなければならない。

第7条 次に該当する資料は、閲覧又は複写を制限することができる。

- (1) 保存に影響を及ぼすおそれがあると認められるもの
- (2) 現に展示中のもの
- (3) 寄託された資料及び借用した資料で、寄託者又は貸出者の承諾を得ていないもの
- (4) その他館長が不相当と認めたもの

(資料の貸出し)

第8条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合、資料の館外貸出しを行うことができる。

- (1) 博物館その他これに相当する施設が行う展示の用に供するとき
- (2) 学校が授業の用に供する場合で、館長が適当と認めるとき
- (3) その他館長が適当と認めるとき

2 資料の館外貸出しを希望する者は、別に定めるところにより、館長の許可を受けなければならない。

3 資料の館外貸出しの許可を受ける者は、資料借用書を館長に提出しなければならない。

4 資料の館外貸出しの許可を受けた者は、館長の指示するところにより、管理にあたらなければならない。

5 資料の館外貸出しの許可を受けた者は、当該資料を他に転貸してはならない。

6 資料の貸出期間は、館長がその都度定める。

(損害の賠償)

第9条 見学者等の博物館の利用者又は資料の館外貸出しの許可を受けた者が、故意又は過失など自己の責に帰すべき理由により、施設設備、展示資料又は貸出資料を損傷し、又は滅失したときは、館長の指示を受けてこれを原形に復し、又は館長が定める相当の代価をもって損害を賠償しなければならない。ただし、館長が特にやむを得ない事情があると認めるときは、この限りではない。

(資料の寄贈)

第10条 博物館は、資料の寄贈を受けることができる。

2 博物館に資料を寄贈しようとする者は、別に定めるところにより、館長にその旨を申出るものとする。

3 館長が寄贈を受けることを決定した場合は、本人にこの旨を通知するものとする。

4 寄贈を受けた資料は、寄贈者の氏名及び寄贈年月日を表記し、永くその篤志を伝える。

(資料の寄託)

第11条 博物館は、資料の寄託を受けることができる。

2 博物館に資料を寄託しようとする者は、別に定めるところにより、館長にその旨を申出るものとする。

3 館長が寄託を受けることを決定した場合は、寄託者にこの旨を通知するものとする。

4 寄託資料の寄託期間は、その都度館長が寄託者と協議して定める。

- 5 寄託資料は、博物館所蔵の資料と同一の取扱いとする。
- 6 寄託資料は、あらかじめ定められた寄託期間にかかわらず、寄託者の請求又は博物館の都合により、これを返還することがある。
- 7 寄託資料が、天災その他の不可抗力によって損傷又は滅失したとき、博物館は損害賠償の責を負わない。

(博物館管理運営委員会)

第12条 博物館の運営に関する事項を協議する機関として博物館管理運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第13条 委員会は、委員長1名、委員5名をもって構成する。

第14条 委員長は、館長が兼任するものとする。

第15条 委員は、次に掲げる者とする。

- (1) 博物館学芸員課程主任
- (2) 神学部長
- (3) 大学事務長
- (4) 博物館事務室責任者
- (5) 博物館教員

第16条 委員の任期は、各委員の役職在任期間とする。

第17条 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができるものとする。

第18条 委員会は、委員長がこれを招集して、その議長となる。ただし、委員長が欠けたとき又は委員長に事故があるときは、委員の互選によって議長を決定する。

(議決)

第19条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ、成立しない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(補則)

第20条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、館長が別に定める。

(所管部署)

第21条 この規則に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

(規則の改廃)

第22条 この規則の改廃は、委員会及び部長会議の議を経て、学長が行う。

附 則

この規則は、2006(平成18)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2014(平成26)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館(ドージャー記念館)講堂使用内規

2006(平成18)年6月14日
制定

(趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館管理運営規則(2005(平成17)年10月5日)第20条の規定に基づき、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)講堂(以下「講堂」という。)の使用に関する事項を定める。

(目的)

第2条 講堂は、西南学院大学博物館規程(2005(平成17)年10月5日)第3条の目的を達成するための活動の場として供することを目的とする。

(使用許可要件)

第3条 西南学院大学博物館長(以下「館長」という。)は、次に掲げる事項に該当する場合、講堂の使用を許可する。ただし、本学の建学の精神に反する目的及び内容である場合は、この限りでない。

- (1) 大学が主催する行事(授業及びチャペル・アワーを含む)
- (2) 大学学生団体が主催し、かつ、学生部長が認めた行事
- (3) 大学教職員が主催する行事
- (4) 大学同窓会が主催する行事
- (5) その他、特に館長が許可する行事

(使用時間)

第4条 講堂の使用時間は、午前10時から午後6時までとする。ただし、館長が必要と認めたときは、この限りでない。

(休館日)

第5条 次に掲げる休館日は、講堂を使用できないものとする。ただし、館長が必要と認めたときは、この限りでない。

- (1) 日曜日
- (2) キリスト降誕祭(12月25日)
- (3) 年末年始の休日(12月28日から1月5日まで)
- (4) 館長が、建物又は備品の修理その他の理由により必要と認めた日

(使用願の提出)

第6条 講堂の使用を希望する者又は団体(以下「使用者」という。)は、所定の使用願を社会連携課博物館事務室(以下「事務室」という。)に提出し、館長の許可を受けなければならない。この場合において、使用者が、時間外又は休館日の使用を希望するときも同様とする。

- 2 前項の使用願の申込み期限は、使用予定日の1か月前とする。

(講堂使用料)

第7条 講堂の使用料は、無料とする。ただし、第3条第3号及び第4号に該当し、かつ、入場料を徴収する行事又は第3条第5号に該当する行事は、有料を原則とする。

- 2 前項ただし書に該当する場合の使用料金及び時間外管理経費は、次に掲げるとおりとする。

使用料金(税込み)	時間外管理経費(税込み)
1時間当たり5,000円	5時間以内 10,000円
	5時間超 20,000円

(講堂内の禁止行為)

第8条 講堂内においては、次に掲げる行為を禁止する。

- (1) 火気の使用
- (2) 許可なく物品の販売を行うこと
- (3) 許可なく金品の寄付募集を行うこと
- (4) 許可なく展示、掲示及び広告又は宣伝を行うこと
- (5) 飲食及び飲酒
- (6) 喫煙
- (7) 凶器及び危険物等の搬入
- (8) 喧騒にわたる行為
- (9) スパイクシューズ及び下駄ばき
- (10) 許可なく備品(長椅子等)を移動すること

(臨時設備及び物品の搬入、搬出)

第9条 使用者が、その活動のために臨時設備を施し、又は講堂常備品以外の物品を搬入しようとするときは、あらかじめ館長の許可を受け、係員の指示に従わなければならない。

- 2 臨時設備又は物品の搬出に遅滞があった場合は、館長が適宜に措置を講ずることができるものとする。この場合において、搬出費用は、使用者の負担とする。

(使用の取消又は中止)

第10条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、その使用許可を取消し又は使用を中止させることができる。

- (1) 建物又は備品等を破壊するおそれがあるとき
- (2) 秩序又は風紀を乱すおそれがあるとき
- (3) 虚偽の申込みが判明したとき
- (4) 事務室の指示に従わなかったとき
- (5) その他管理上支障があると認めるとき

(損害賠償)

第11条 使用者は、建物、付帯設備、備品等を汚損、破壊又は滅失した場合、事務室に届け出て、その損害を賠償しなければならない。

(所管部署)

第12条 この内規に関する事務は、事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第13条 この内規の改廃は、博物館管理運営委員会の議を経て、館長が行う。

附 則

この内規は、2006(平成18)年6月14日から施行する。

附 則

この内規は、2010(平成22)年5月12日から施行する。

附 則

この内規は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館(ドージャー記念館)パイプオルガンの管理及び使用に関する内規

2007(平成19)年5月24日
制定

(趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)設置のパイプオルガンの管理及び使用を円滑に行うため、必要な事項を定めるものとする。

(管理)

第2条 パイプオルガンの管理は、学長の委嘱により博物館長及び大学事務長が協議の上、これにあたる。

(委員会の構成)

第3条 第1条の事項を協議するためパイプオルガン管理運用委員会(以下「委員会」という。)を置く。

2 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 大学事務長
 - (2) 学院宗教主事(音楽担当)(以下「宗教主事」という。)
 - (3) 博物館教員
 - (4) 学長が委嘱する教員(神学部教員を含む)若干名
 - (5) 総務課長
 - (6) 施設課長
 - (7) キリスト教活動支援課長
 - (8) 博物館事務室責任者(以下「責任者」という。)
- 3 前項第4号に規定する委員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

(委員長)

第4条 委員会には、委員長を置き、大学事務長がこれにあたる。

2 委員長に事故あるときは、前条第2項の委員の互選によりこれを定める。

(招集及び議事)

第5条 委員長は、必要に応じ委員会を招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

3 委員会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(使用対象者)

第6条 パイプオルガンの使用は、博物館長が講堂の使用を認めた行事に際し、次に掲げる者に限り認めるものとする。

- (1) 宗教主事
- (2) 宗教主事が推薦する者
- (3) パイプオルガンを使用する授業科目担当者及び受講生
- (4) 学長が特に推薦する者

(使用時間)

第7条 パイプオルガンの使用時間は、午前10時から午後6時までとする。

2 前項の規定にかかわらず、博物館長が必要と認めたときは、当該時間を変更することができる。

(使用手続等)

第8条 パイプオルガンの使用を希望する者は、西南学院大学博物館(ドージャー記念館)講堂使用内規(2006(平成18)年6月14日)第6条第1項の使用願により許可を得るものとする。

2 パイプオルガン使用の際は、博物館事務室係員の指示に従うものとする。

(使用者の管理義務)

第9条 パイプオルガンの使用者は、次に掲げる事項について特に注意しなければならない。

- (1) パイプオルガン使用中の鍵の管理
 - (2) 使用後のパイプオルガンの施錠
 - (3) 鍵の返却
- 2 故障又は調整の必要が生じた時は、直ちに宗教主事及び責任者に通知すること。

(定めのない事項)

第10条 パイプオルガンの管理及び使用について、この内規に定めのない事項については、必要に応じ学長と大学事務長が協議の上、決定する。

(所管部署)

第11条 この内規に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第12条 この内規の改廃は、委員会の議を経て学長が行う。

附 則

この内規は、2007(平成19)年5月24日から施行し、2007(平成19)年5月15日から適用する。

附 則
この内規は、2009(平成21)年7月30日から施行する。

附 則
この内規は、2014(平成26)年4月1日から施行する。

附 則
この内規は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則
この内規は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

西南学院大学博物館資料収集検討委員会内規

2016(平成28)年3月9日
制定

(趣旨)

第1条 この内規は、西南学院大学博物館協議会規則(2005(平成17)年10月5日)第2条第2項に基づき、博物館資料の収集に必要な事項を定めるものとする。

(委員会の設置)

第2条 博物館において所蔵する資料の収集を適正かつ円滑に行うため、博物館資料収集検討委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(委員会の構成)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 博物館長(以下「館長」という。)
 - (2) 館長が委嘱する専任教員若干名
 - (3) 博物館教員
 - (4) 大学事務長
- 2 次条第1項第1号の資料を審議する場合は、前項の委員の他に当該資料に関する専門家(以下「専門家」という。)を委員として加えなければならない。
- 3 専門家は、やむを得ず委員会に出席できないときは、必ず当該資料収集に関する意見書を館長に提出しなければならない。
- 4 役職者以外の委員(専門家を除く。)の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、役職上の委員の任期は、その職にある期間とする。

(委員会の開催要件)

第4条 委員会は、次に掲げる場合に開催しなければならない。

- (1) 1資料の価格(税込み)が100万円を超える場合
- (2) 当該年度の資料購入予算限度額を超える場合
- (3) その他、館長が諮問する場合

(委員長)

第5条 委員会に、委員長を置く。

2 委員長は、館長がこれに当たる。館長が欠けたとき又は館長に事故あるときは、委員の互選によって、これを定める。

(招集等)

第6条 委員会は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は、必要に応じて委員以外の者(学外者を含む。)の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(委員会の成立及び議事)

第7条 委員会は、構成員の過半数の出席がなければ成立しない。

2 委員会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(所管部署)

第8条 この内規に関する事務は、社会連携課博物館事務室の所管とする。

(内規の改廃)

第9条 この内規の改廃は、西南学院大学博物館協議会の議を経て、部長会議が処理する。この場合において、その実施には、学長の承認を得ることとする。

附 則

この内規は、2016(平成28)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2018(平成30)年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、2019(平成31)年4月1日から施行する。

5. その他

寄贈図書一覧

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
公益財団法人日本博物館協会	博物館研究	小冊子	2018	公益財団法人日本博物館協会
東北大学総合学術博物館	研究紀要	紀要	2018	東北大学総合学術博物館
東北大学総合学術博物館	ニュースレター	小冊子	2018	東北大学総合学術博物館
ノースアジア大学民俗館	雪国民俗 第42号	報告書	2018	ノースアジア大学雪国民俗館
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第10集 古作遺跡	報告書	2018	南島原市教育委員会
南島原市教育委員会	南島原市文化財調査報告書 第11集 東大窪遺跡	報告書	2018	南島原市教育委員会
九州陶磁文化館	セラミック九州	報告書	2018	九州陶磁文化会館
早稲田システム開発株式会社	インフォメーションセット	報告書	2018	早稲田システム開発会社
福岡アジア美術館	あじびニュース 72	小冊子	2018	福岡アジア美術館
福岡市美術館	平成28年福岡市美術館活動の記録	年報	2018	福岡市美術館
福岡市美術館	研究紀要 第6号	紀要	2018	福岡市美術館
東京文化財研究所	TOBUNKEN NEWS	小冊子	2018	東京文化財研究所
長崎歴史文化博物館	長崎歴史文化博物館 教育実践報告書 -博物館と学校をつなぐ学びの実践-	小冊子	2018	長崎歴史文化博物館
久留米文化財収蔵館	収蔵館ニュース 第14号	小冊子	2018	久留米文化財収蔵館
東北学院大学博物館	博物館年報 Vol.8	小冊子	2018	東北学院大学博物館
國學院大學博物館	研究報告 第34輯	小冊子	2018	國學院大學博物館
長崎歴史文化博物館	れきぶんNEWS	小冊子	2018	長崎歴史文化博物館
シーボルト記念館	鳴滝紀要	紀要	2018	シーボルト記念館
福岡市総合図書館	研究紀要 第18号	紀要	2018	福岡市総合図書館
福岡市総合図書館	平成29年度古文書資料目録 23	目録	2018	福岡市総合図書館
アートフル大分プロジェクト実行委員会	びじゅつってすげえ! 2017~2018	小冊子	2018	大分県立美術館
大分県立美術館 教育普及グループ	いろいろな色の物語 大分県から絵具をつくる	小冊子	2018	大分県立美術館
石橋財団ブリヂストン美術館	館報 66号	館報	2018	石橋財団ブリヂストン美術館
京都大学大学文書館	京都大学大学文書館研究紀要 第16号	紀要	2018	京都大学大学文書館
鹿児島大学総合研究博物館	NEWS Letter No.41	小冊子	2018	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	NEWS Letter No.42	小冊子	2018	鹿児島大学総合研究博物館
鹿児島大学総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館年報 No.16	年報	2018	鹿児島大学総合研究博物館
玉川大学教育博物館	紀要 第15号	紀要	2018	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	博物館ニュース「SHO」 No.50	小冊子	2018	玉川大学教育博物館
大分市歴史資料館	平成29年度特別展「威信の舞台 よみがえる大友館」 図録	図録	2018	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュース Vol.115	小冊子	2018	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュース Vol.116	小冊子	2018	大分市歴史資料館
大分市歴史資料館	大分市歴史資料館ニュース Vol.117	小冊子	2018	大分市歴史資料館
帝塚山大学付属博物館	帝塚山大学考古学研究所研究報告XX	報告書	2018	帝塚山大学付属博物館
帝塚山大学付属博物館	帝塚山大学付属博物館報XⅢ	年報	2018	帝塚山大学付属博物館
長崎純心大学博物館	「浦上四番崩れから150年を迎えて」記念講演集	小冊子	2018	長崎純心大学博物館
長崎純心大学博物館	純心 博物館だよりNo.38	小冊子	2018	長崎純心大学博物館
ちくごアートファーム計画実行委員会	CHIKUGO ART POT 2017 そーまのたらい展	小冊子	2018	ちくごアートファーム計画実行委員会
金沢美術工芸大学美術工芸研究所	美術工芸研究所報 No.31	小冊子	2017	金沢美術工芸大学美術工芸研究所
公益財団法人日本博物館協会	博物館研究	小冊子	2018	公益財団法人日本博物館協会
新潟市歴史博物館	博物館ニュース	小冊子	2018	新潟市歴史博物館
立教大学	立教大学博物館研究 NO.63	紀要	2018	立教大学
愛知大学東亜同文書院大学記念センター	東亜同文書院記念基金会ニュース	小冊子	2018	愛知大学東亜同文書院大学記念センター
愛知大学東亜同文書院大学記念センター	同文書院記念報 VOL.26	紀要	2018	愛知大学東亜同文書院大学記念センター
東京大学史料編纂所	東京大学史料編纂所付属画像史料解析センター通信	小冊子	2018	東京大学史料編纂所
学習院大学史料館	学習院大学史料館紀要第24号	紀要	2018	学習院大学史料館
学習院大学国際センター	学習院大学蔵中国銅鏡図録 ——林コレクション——	報告書	2018	学習院大学国際センター
平戸市生月町博物館・島の館	島の館だより 22号	小冊子	2018	平戸市生月町博物館・島の館
平戸市生月町博物館・島の館	定置網の歴史と文化を探る	報告書	2018	平戸市生月町博物館・島の館
全日本博物館学会	博物館学雑誌	雑誌	2018	全日本博物館学会
全日本博物館学会	学会ニュース 124	小冊子	2018	全日本博物館学会

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
公益財団法人日本博物館協会	博物館研究 Vol.53 No.6 通巻600号	小冊子	2018	公益財団法人日本博物館協会
関西大学博物館	山本竟山の書と学問 ——湖南・南山・鉄斎・南岳との文人交流ネットワーク——	小冊子	2018	関西大学博物館
関西大学博物館	関西大学博物館紀要第24号	紀要	2018	関西大学博物館
関西大学博物館	阡陵 関西大学博物館叢報 No.76	小冊子	2018	関西大学博物館
福岡市博物館	平成27年度収集 収藏品目録	目録	2018	福岡市博物館
福岡市博物館	福岡市博物館研究紀要 第27号 2018年	紀要	2018	福岡市博物館
福岡市博物館	Facata Vol.107	小冊子	2017	福岡市博物館
福岡市博物館	Facata Vol.108	小冊子	2017	福岡市博物館
福岡市博物館	Facata Vol.109	小冊子	2017	福岡市博物館
福岡市博物館	Facata Vol.110	小冊子	2018	福岡市博物館
昭和女子大学光葉博物館	ことばのいる ことばのおと ——人見東明と白秋・露風の詩の世界——	小冊子	2018	昭和女子大学光葉博物館
昭和女子大学光葉博物館	昭和女子大学付属昭和高等学校 スーパーグローバルハイスクールの取り組み	小冊子	2017	昭和女子大学光葉博物館
深澤太郎	長野県安曇野市稲高古墳群 2015年度 F9号墳発掘調査報告書	小冊子	2017	國學院大學文学部考古学研究室
金沢美術工芸大学	東アジア文化都市2018金沢プレ事業 2017ピエンナーレいしかわ秋の芸術祭	小冊子	2018	金沢美術工芸大学
金沢美術工芸大学 柳宗理記念デザイン研究所	柳宗理と松村硬質陶器展 ——戦後日本のテーブルウェア——	小冊子	2018	金沢美術工芸大学
金沢美術工芸大学 柳宗理記念デザイン研究所	金沢美術工芸大学 柳宗理記念デザイン研究所年報	年報	2018	金沢美術工芸大学
京都大学大学文書館	京都大学大学文書館だより第34号	小冊子	2018	京都大学大学文書館
久留米大学	NEWS Letter Vol. 9	小冊子	2018	久留米大学
安高啓明	踏絵を踏んだキリシタン	冊子	2018	吉川弘文館
脇田安大	世界遺産長崎と草地方の潜伏キリシタン関連遺産 公式ガイドブック 探訪 長崎の教会群 島原・天草編	冊子	2018	脇田安大 様
神戸大学海事博物館	海事博物館研究年報 No.45	年報	2018	神戸大学海事博物館
神戸大学海事博物館	海事博物館企画展図録	図録	2018	神戸大学海事博物館
九州国立博物館	東風西声第13号	紀要	2018	九州国立博物館
九州国立博物館	至上の印象派展 ビュールレ・コレクション	図録	2018	九州国立博物館
東京都江戸東京博物館	東京都江戸東京博物館紀要 第8号	紀要	2018	東京都江戸東京博物館
東京都江戸東京博物館	東京都江戸東京博物館 調査報告書 第33集	報告書	2018	東京都江戸東京博物館
大分県芸術文化振興財団	i 10 vol. 81	小冊子	2018	大分県芸術文化スポーツ振興財団
徳川記念財団	会報 vol. 31	小冊子	2018	徳川記念財団
北九州市漫画ミュージアム	第2回北九州国際漫画大賞作品集	作品集	2018	北九州市漫画ミュージアム
野村俊之	五島列島における潜伏キリシタン墓に関する分布の基礎的研究2	抜き刷り	2018	後藤俊之 様
野村俊之	五島列島における潜伏キリシタン墓に関する分布の基礎的研究4	抜き刷り	2018	後藤俊之 様
関西大学博物館	「ポスターでたどる戦前の新劇」展	図録	2018	関西大学博物館
新修宗像市史編集委員会	宗像市史研究 創刊号	紀要	2018	新修宗像市史編集委員会
東北大学総合学術博物館	ニュースレター	小冊子	2018	東北大学総合学術博物館
思文閣出版	鴨東通信	小冊子	2018	思文閣出版
全日本博物館学会	第44回研究大会発表要旨	報告書	2018	全日本博物館学会
北九州市立自然史・歴史博物館	研究報告 B類歴史 第15号	報告書	2018	北九州市立自然史・歴史博物館
北九州市立自然史・歴史博物館	最後の戦国武将 小倉藩主 小笠原忠真	図録	2018	北九州市立自然史・歴史博物館
公益財団法人鍋島報効会	徴古館報 第36号	小冊子	2018	公益財団法人鍋島報効会
公益財団法人鍋島報効会	公益財団法人鍋島報効会研究助成研究報告書 第8号	報告書	2018	公益財団法人鍋島報効会
広島大学総合博物館	広島大学総合博物館ニュースレター Vol.11 HUM-HUM	小冊子	2018	広島大学総合博物館
広島大学総合博物館	広島大学総合博物館研究報告9	報告書	2017	広島大学総合博物館
大分県立美術館	平成28年度大分県立美術館年報	年報	2018	大分県立美術館
大分県立美術館	大分県立美術館 研究紀要 第2号	紀要	2018	大分県立美術館
福岡県立図書館郷土資料課	第52回福岡県地方史研究協議大会 講演論旨	報告書	2018	福岡県立図書館
長崎歴史文化館	れきぶんNEWS No.046	報告書	2018	長崎歴史文化館
日本博物館協会	博物館研究No. 53	報告書	2018	日本博物館協会
日本博物館協会	安定化処理	報告書	2018	日本博物館協会
日本博物館協会	博物館における多言語化対応の現状と課題	報告書	2018	日本博物館協会
日本工業大学工業技術博物館	工業技術博物館ニュースNo.100	報告書	2018	日本工業大学工業技術博物館
関西大学博物館	地図皿にみる世界と日本	図録	2018	関西大学博物館
有馬記念館	有馬記念館年報 第4号	年報	2018	有馬記念館

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信	小冊子	2018	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター
筑紫野市歴史博物館	明治維新と宿場町	図録	2018	筑紫野市歴史博物館
北海道大学総合博物館	北海道大学総合博物館ニュース 第37号	報告書	2018	北海道大学総合博物館
久留米市美術館	求道の画家 岸田劉生と椿貞雄	図録	2018	久留米市美術館
日本博物館協会	博物館研究 53号	小冊子	2018	日本博物館協会
全日本博物館学会	学会ニュース NO.125	小冊子	2018	全日本博物館学会
大分県芸術文化スポーツ振興財団	ilOいと Vol.82	小冊子	2018	大分県芸術文化スポーツ振興財団
大分県立歴史博物館	大分県立歴史博物館年報	年報	2018	大分県立歴史博物館
早稲田システム開発株式会社	MAPPS Press no.11	小冊子	2018	早稲田システム開発株式会社
下関市歴史博物館	明治維新150年記念特別展 海峡の幕末維新	図録	2018	下関市歴史博物館
八女市岩戸山歴史文化交流館	年報2 ―平成29年度―	年報	2018	八女市教育委員会
福岡市博物館	特別展浄土九州九州の浄土教美術	図録	2018	福岡市博物館
学習院大学史料館	学習院大学史料館 ミュージアム・レター No.38	小冊子	2018	学習院大学史料館
新潟市歴史博物館	新潟市歴史博物館 博物館ニュースvol.44	小冊子	2018	新潟市歴史博物館
Michael Strassfeld	The Jewish Holidays A Guide and Commentary	書籍	1985	阿相睦子 様
Michal Ronnen Sadie	TheWestern Wall	書籍	1997	阿相睦子 様
中部民族資料博物館	中部民族資料博物館ニュースレター14号	小冊子	2018	中部民族資料博物館
帝京大学総合博物館	館報 創刊号	報告書	2018	帝京大学総合博物館
帝京大学総合博物館	「カビ展」図録	図録	2018	帝京大学総合博物館
日本博物館協会	博物館研究 vol.53 no.10	報告書	2018	日本博物館協会
嘉麻市教育委員会	『語り伝える 戦争の話』記録集	冊子	2018	嘉麻市教育委員会
九州歴史資料館	九歴だより NO.48	小冊子	2018	九州歴史資料館
帝国データバンク史料館	帝国データバンクだより vol.32	小冊子	2018	帝国データバンク史料館
駒澤大学禅文化歴史博物館	駒澤大学禅歴史博物館紀要第2号(平成28年度)	紀要	2018	駒澤大学禅文化歴史館
新潟市歴史博物館	玉と鏡の世界	図録	2018	新潟市歴史博物館
新潟市歴史博物館	キラリ☆新潟(美)の刀剣展	図録	2018	新潟市歴史博物館
新潟市歴史博物館	新潟市歴史博物館研究紀要第14号	紀要	2018	新潟市歴史博物館
東京文化財研究所	2018年東京文化財研究所概要	館報	2018	東京文化財研究所
東京文化財研究所	TOBUNKEN NEWS No. 67	小冊子	2018	東京文化財研究所
天草市立天草キリシタン館	天草キリシタン館 館報第5号(平成29年度報告)	館報	2018	天草市立天草キリシタン館
能古博物館	のこ博物館だより 第83号	小冊子	2018	能古博物館
関西大学博物館	関西大学博物館彙報	小冊子	2018	関西大学博物館
日本博物館協会	博物館研究 Vol.53 No.11	小冊子	2018	日本博物館協会
日本博物館協会	会員名簿	冊子	2018	日本博物館協会
関西学院大学博物館	「美術と文芸 ―関西学院が生んだ作家たち―」図録	図録	2018	関西学院大学博物館
九州国立博物館	全国高等学校 考古名品展2018	図録	2018	九州国立博物館
九州国立博物館	坂本五郎コレクション名品図録	図録	2018	九州国立博物館
九州国立博物館	国宝 銅鐸 絵画 National Treasure : Ritual Bronze Bells	図録	2018	九州国立博物館
九州国立博物館	オークラコレクション	図録	2018	九州国立博物館
上野原縄文の森	上野原縄文の森だより vol.35	小冊子	2018	上野原縄文の森
京都大学文学書館	京都大学文学書館だより第35号	小冊子	2018	京都大学文学書館
学習院大学博物館過程	学芸員 NO.21	小冊子	2018	学習院大学学芸員過程
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信第83号	小冊子	2018	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター
玉川大学教育博物館	博物館ニュース[SHU] NO.51	小冊子	2018	玉川大学教育博物館
玉川大学教育博物館	MUSEUM REPORT NO.16	館報	2018	玉川大学教育博物館
東北大学総合学術博物館	ニュースレター mnividens	小冊子	2018	東北大学総合学術博物館
昭和女子大学光葉博物館	秋の特別展 型染め ―巧と美をつなぐ 琉球びんがた・江戸小紋・和更紗・正藍型染	小冊子	2018	昭和女子大学光葉博物館
九州芸文館	筑後アート往来2017-18	小冊子	2018	九州芸文館
九州大学総合研究博物館	NEWS 30	小冊子	2018	九州大学総合研究博物館
中部大学民族資料博物館	中部大学民族資料博物館 年報7号	館報	2018	中部大学民族資料博物館
中部大学民族資料博物館	中部大学民族資料博物館 連続講演記録	小冊子	2018	中部大学民族資料博物館
全日本博物館学会	学会ニュースNo.126	小冊子	2018	全日本博物館学会
全日本博物館学会	博物館学雑誌	報告書	2018	全日本博物館学会
八代市立博物館未来の森ミュージアム	『ザ・家老 松井康之と興永 ―細川家を支えた「忠義」―』	図録	2018	八代市立博物館未来の森ミュージアム
公益財団法人アイヌ民族文化財団	キムンカムイとアイヌ ―春夏秋冬	図録	2018	公益財団法人アイヌ民族文化財団

著者・編者	書名	資料区分	発行年	寄贈元
下関市歴史博物館	特別展 大内氏の興亡と毛利氏の隆盛	図録	2018	下関市歴史博物館
高木秀雄 西谷大	講談社の動く図鑑MOVE 世界遺産	図鑑	2018	講談社 MOVE編集チーム
日本博物館協会	博物館研究	冊子	2018	日本博物館協会
長崎歴史文化博物館	れきぶん NAGASAKI MUSEUM NEWS No.47 秋号	小冊子	2018	長崎歴史文化博物館
学習院大学史料館	ミュージアム・レター	小冊子	2018	学習院大学史料館
大分県立先哲史料館	日本の近代と大分の先哲	小冊子	2018	大分県立先哲史料館
大分県立先哲史料館	史料館研究紀要	紀要	2018	大分県立先哲史料館
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館 年報9 2017	年報	2018	東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館
徴古館	徴古館報 第37号	報告書	2019	徴古館
帝国データバンク史料館	ミュージズ vol.33	報告書	2019	帝国データバンク史料館
立正大学博物館	砂漠に生きる ——化石と石と砂——	報告書	2018	立正大学博物館
立正大学博物館	方言だより 第27号	報告書	2018	立正大学博物館
適塾記念会	適塾 No.51	会誌	2018	大阪大学適塾記念センター
長崎歴史文化博物館	長崎れきぶんNEWS No.48 新春号	小冊子	2018	長崎歴史文化博物館
南山大学人類学博物館	南山大学人類学博物館紀要 第37号	紀要	2018	南山大学人類学博物館
公益財団法人 徳川記念財団	会報 vol. 32	小冊子	2018	公益財団法人 徳川記念財団
大分県芸術文化スポーツ振興財団	iLO いと Vol.83	小冊子	2018	大分県芸術文化スポーツ振興財団
公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 Vol.54 No.1 通巻607号	小冊子	2018	公益財団法人 日本博物館協会
津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会	東日本大震災 津波で被災した文化財再生の歩み	小冊子	2018	公益財団法人 日本博物館協会
全日本博物館学会事務局	学会ニュースNo.126	小冊子	2018	全日本博物館学会
全日本博物館学会事務局	学会ニュースNo.127	小冊子	2019	全日本博物館学会
日本博物館協会	博物館研究Vol.54 No.2 通巻608号	小冊子	2019	日本博物館協会
東京大学史料編纂所	東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第84号	小冊子	2019	東京大学
サントリー美術館・九州国立博物館・日本経済新聞社	京都・醍醐寺 ——真言密教の宇宙——	図録	2018	九州国立博物館
九州国立博物館	伊能忠敬没後200周年記念 特集展示 平戸松浦家伝来の伊能図	図録	2018	九州国立博物館
佐賀大学美術館	佐賀大学美術館 平成29年度年報+紀要	年報、紀要	2018	佐賀大学美術館
同志社大学歴史資料館	同志社大学歴史資料館館報 第21号	館報	2018	同志社大学歴史資料館
國學院大學考古学研究室	國學院大學文学部考古学実習報告 第55集 長野県安曇野市穂高古墳群 2016・2017年度 F9号墳発掘調査報告書	報告書	2019	國學院大學考古学研究室
鹿児島国際大学国際文化部博物館実習施設・鹿児島国際大学ミュージアム	鹿児島国際大学ミュージアム調査研究	報告書	2019	鹿児島国際ミュージアム
熊本県立装飾古墳館	研究紀要 第14集	報告書	2018	熊本県立装飾古墳館
大分県立美術館	大分県立美術館 年報 平成29年度	報告書	2019	大分県立美術館
大分県立美術館	大分県立美術館 研究紀要 第3号	報告書	2019	大分県立美術館
中野省蔵	春夏秋冬	句集(私家本)	2018	中野省蔵様(著者謹呈)
泉田佳代、飯島礼子、山根佳奈、鈴木日和、松原知子、広松由希子	プラティスラヴァ世界絵本原画展BIBで出会う絵本のいま	図録	2018	久留米市美術館
平成30年度 福岡女子大学アートマネジメント人材育成事業 運営事務局	福岡女子大学アートマネジメント人材育成事業 平成30年度 大学における文化芸術推進事業 活動報告書	報告書	2019	公立大学法人福岡女子大学文化芸術推進事業事務局
みんな寄って百人寄席 チームメンバー	みんな寄って百人寄席 調査報告書	報告書	2019	公立大学法人福岡女子大学文化芸術推進事業事務局
福岡市美術館	平成29年度 福岡市美術館 活動の記録	報告書	2018	福岡市美術館
福岡市美術館	福岡市美術館 研究紀要 第7号	報告書	2019	福岡市美術館
公益財団法人 日本博物館協会	博物館研究 平成29年度博物館館園数関連統計	報告書	2019	公益財団法人
ノースアジア大学雪国民俗館	雪国民俗(第43号)	報告書	2019	ノースアジア大学雪国民俗館
立正大学博物館	第13回特別展 礫石経	図録	2019	立正大学博物館
天草市観光部世界遺産推進室	世界文化遺産登録記念特別展第2弾 長崎居留地と大浦天主堂を造った天草の兄弟 小山秀之進と北野織部	図録	2019	天草市観光文化世界遺産推進室
ゆくはし国際公募彫刻委員会	第2回 ゆくはし国際公募彫刻展	報告書	2019	ゆくはし国際公募彫刻委員会
熊本大学五高記念館	熊本大学五高記念館叢書 第三集 昭和期の第五高等学校 調査報告(一)	報告書	2019	熊本大学五高記念館
長崎市長崎学研究所	長崎市長崎学研究所紀要 長崎学 第3号	報告書	2019	長崎市長崎学研究所
(株)海の中道海洋生態科学館	マリンワールド海の中道 30周年記念誌	報告書	2019	(株)海の中道海洋生態科学館
九州大学総合研究博物館	九州大学総合研究博物館	報告書	2019	九州大学総合研究博物館

西南学院大学博物館組織

大学博物館

館長 宮崎 克則（兼任、本学国際文化学部教授）
 専門：日本近世史
 江戸時代の風俗・社会・文化・産業・政治について記録資料を利用しながら研究。
 江戸の民衆文化を主体にシーボルトなどの異文化交流史。

博物館教員 下園 知弥（専任）
 （助教・学芸員） 専門：西洋思想史・西洋美術史
 キリスト教の思想・美術を中心に研究。時代は古代および中世が専門。

博物館事務室

職員 大西 修三

学芸研究員 山尾 彩香（担当：西洋美術史・教育普及）
 宮川 由衣（担当：キリスト教史・キリスト教文化）
 学芸調査員 田中 恵（本学国際文化研究科研究生）
 西山 萌（本学国際文化研究科博士前期課程）
 鬼東 芽依（本学国際文化研究科博士前期課程）
 早田 萌（本学国際文化研究科博士前期課程）
 木村 新菜（本学国際文化学部学部生）
 内野 舞衣（本学人間科学部学部生）

博物館管理運営委員会（西南学院大学博物館管理運営規則第14条～15条）

委員長 宮崎 克則（博物館長）
 委員 朝立康太郎（博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授）
 須藤伊知郎（神学部長 本学神学部教授）
 大杉 晋介（大学事務長）
 下園 知弥（博物館教員）
 大西 修三（博物館事務室責任者）

博物館協議会（西南学院大学博物館協議会規則第3条）

会長 有馬 学（福岡市博物館館長）
 副会長 島谷 弘幸（九州国立博物館館長）
 委員 朝立康太郎（博物館学芸員課程主任 本学国際文化学部准教授）
 古田 雅憲（本学人間科学部・児童教育学科教授）
 大杉 晋介（本学大学事務長）
 齊藤 真人（学校法人立花学園立花高等学校校長）

（2019年8月現在）

西南学院大学博物館年報 第 11 号
2018

発行日 2019年10月31日

編集発行 西南学院大学博物館
〒814-8511 福岡市早良区西新3-13-1
TEL(092)823-4785 FAX(092)823-4786

印刷 株式会社インテックス福岡
〒812-0892 福岡市博多区東那珂1-15-1
TEL(092)477-7002 FAX(092)477-7003

 西南学院大学